



AMD X670/B650/A620 シリーズ マザーボード

ソフトウェア / BIOS セットアップ ガイド

バージョン 1.2

2023 年 3 月発行

Copyright©2023 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

バージョン 1.2

2023 年 3 月発行

Copyright©2023 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

著作権について：

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項：

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示または黙示にも、黙示の保証、商品性の条件、または特定の目的への適合性を含め、かつそれらに限定されず、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害(利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中断などを含む)への責任を負いかねます。

連絡先情報：

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト <http://www.asrock.com> をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的など質問がある場合は、<https://event.asrock.com/tsd.asp> でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

電子メール： info@asrock.com.tw

ASRock EUROPE B.V.

電子メール： sales@asrock.nl

ASRock America, Inc.

電子メール： sales@asrockamerica.com

内容

第1章 はじめに	1
第2章 ソフトウェアとユーティリティの操作	2
2.1 自動ドライバー インストーラー (ADI)	2
2.1.1 初めてドライバーをインストールする	2
2.1.2 ドライバーの更新	6
2.2 ASRock ライブ更新と APP ショップ	7
2.2.1 ASRock ライブ更新と APP ショップ のインストール	7
2.2.2 UI 概要	8
2.2.3 アプリ	9
2.2.4 BIOS とドライバー	12
2.2.5 設定	13
2.3 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning)	14
2.3.1 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) のインストール	14
2.3.2 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) の使用	14
2.4 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning)	17
2.4.1 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) のインストール	17
2.4.2 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) の使用	17
2.5 ASRock Polychrome SYNC	20
2.5.1 LED ストリップを接続する	20
2.5.2 アドレスラブル RGB LED ストリップを接続する	21

2.5.3	Installing ASRock Polychrome SYNC ユーティリティのインストール	22
2.6	Nahimic Audio (Nahimic オーディオ)	23
第3章	UEFI セットアップユーティリティ	25
3.1	はじめに	25
3.1.1	BIOS セットアップに入る	25
3.1.2	UEFI メニュー バー	26
3.1.3	ナビゲーション キー	27
3.2	Main (メイン) 画面	28
3.3	OC Tweaker (OC 調整) 画面	29
3.4	Advanced (詳細) 画面	40
3.4.1	CPU Configuration (CPU 設定)	41
3.4.2	PCI 構成	42
3.4.3	オンボード デバイス構成	43
3.4.4	ストレージ構成	46
3.4.5	ACPI 構成	47
3.4.6	トラステッド コンピューティング	49
3.4.7	AMD CBS	51
3.4.8	AMD PBS	64
3.4.9	AMD オーバークロッキング	67
3.5	ツール	68
3.6	Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルスイベント監視) 画面	70
3.7	Security (セキュリティ) 画面	76
3.8	Boot (ブート) 画面	80
3.9	Exit (終了) 画面	82

第1章 はじめに

このユーザーガイドは、すべての AMD X670、B650 および A620 マザーボードシリーズの完全なセットアップガイドです。このマニュアルのスクリーンショットは参考用です。設定とオプションは、購入したマザーボードによって異なる場合があります。

このドキュメントの第1章では、セットアップガイドの概要を説明します。第2章には、ソフトウェアとユーティリティの操作ガイドが含まれています。第3章には、BIOS セットアップの設定ガイドが含まれています。

ソフトウェア セットアップ ガイド

- 自動ドライバー インストーラー (ADI)
- ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)
- ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning)
- ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning)
- ASRock Polychrome SYNC
- Nahimic オーディオ

BIOS セットアップ ガイド

- UEFI セットアップ ユーティリティ



マザーボードの仕様とソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なく ASRock のウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトでご参照ください。ASRock ウェブサイト <http://www.asrock.com>。

第2章 ソフトウェアとユーティリティの操作

2.1 自動ドライバー インストーラー (ADI)

ドライバーのインストールに、光学ドライブまたはドライバー DVD は不要になりました。ASRock マザーボードには、すでに BIOS ROM にプリバックされたイーサネットドライバーが含まれています。オペレーティングシステムのインストールが完了したら、自動ドライバー インストーラーを使用して、必要なすべてのドライバーを自動的にダウンロードしてインストールします。

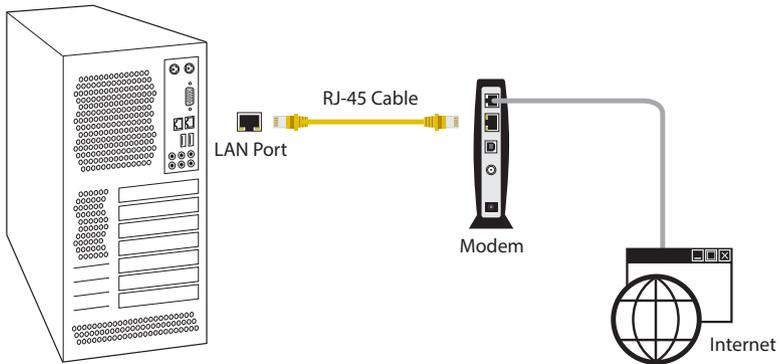
2.1.1 初めてドライバーをインストールする

指示に従って、自動ドライバー インストーラーから必要なすべてのドライバーをインストールします。

以下の手順では、インターネット アクセスが必要ですのでご注意ください。

手順 1

Windows OS をインストールしたら、コンピューターをインターネットに接続します。



手順 2

システムを起動すると、画面の右下隅に「Do you want to one-step-install the latest drivers simply from ASRock Auto Driver Installer? (ASRock 自動ドライバー インストーラーから簡単に最新のドライバーをワンステップでインストールしますか?)」という通知がポップアップ表示されます。

「Yes (はい)」を選択して自動ドライバー インストーラーをインストールします。

「No (いいえ)」を選択してインストールをスキップします。



1. 自動ドライバー インストーラーは、BIOS のメニューの「Auto Driver Installer (自動ドライバー インストーラー)」項目が「Enabled (有効)」に設定されている場合にのみ、ユーザーがドライバーをインストールするために自動的にポップアップ表示します。項目はデフォルトで有効になっています。したがって、初めてのユーザーは、BIOS で設定を変更する必要はありません。
2. 自動ドライバー インストーラーを使用するには、利用可能なインターネット接続が前提条件です。インターネットなしでシステムを起動すると、自動ドライバー インストーラーは表示されません。コンピューターをインターネットに接続し、数秒待つと、自動ドライバー インストーラーがポップアップ表示されます。
3. 手順 2 で「No (いいえ)」を選択してインストールをスキップすると、自動ドライバー インストーラーは削除されます。アプリケーションを再度実行する場合は、BIOS 設定で「Auto Driver Installer (自動ドライバー インストーラー)」項目を有効にしてください。

手順 3

完了すると、デスクトップに自動ドライバー インストーラー アイコンが表示され、自動ドライバー インストーラーが表示されます。



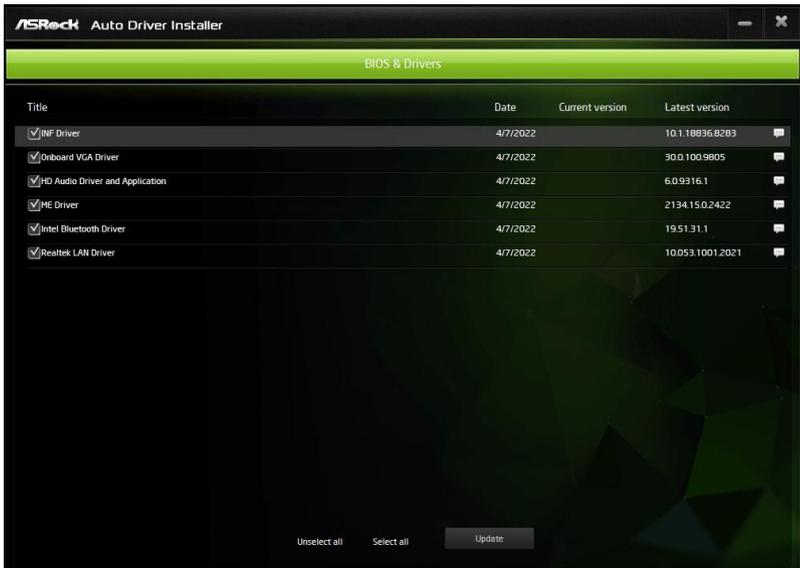
手順 4

自動ドライバー インストーラー パネルには、マザーボードがサポートする利用可能なすべてのドライバーが一覧表示されます。インストールするドライバーを 1 つ以上選択します。

「Select All (すべて選択)」をクリックすると、すべての項目が選択されます。

「Unselect All (すべての選択を解除)」をクリックして、すべての選択を削除します。

「Update (更新)」をクリックして、ドライバーのダウンロードとインストールを開始します。



インストールするドライバーがない場合は、「Finish (完了)」をクリックして終了します。アプリケーションを再度実行する場合は、BIOS 設定で「Auto Driver Installer (自動ドライバー インストーラー)」項目を有効にしてください。

手順5

「During installation, your system may reboot and continue installing remaining item(s) (インストール中にシステムが再起動し、残りの項目のインストールを続行する可能性があります)」というメッセージが表示されます。

「Yes (はい)」をクリックして続行します。

「No (いいえ)」をクリックして終了します。

**手順6**

すべてのドライバーが正常にインストールされると、「Installation has been successfully completed! For further drivers and utilities, please visit ASRock's website. (インストールが正常に完了しました! その他のドライバーとユーティリティについては、ASRock の Web サイトにアクセスしてください。)」というポップアップメッセージが表示されます。

「OK」をクリックして手続きを完了します。



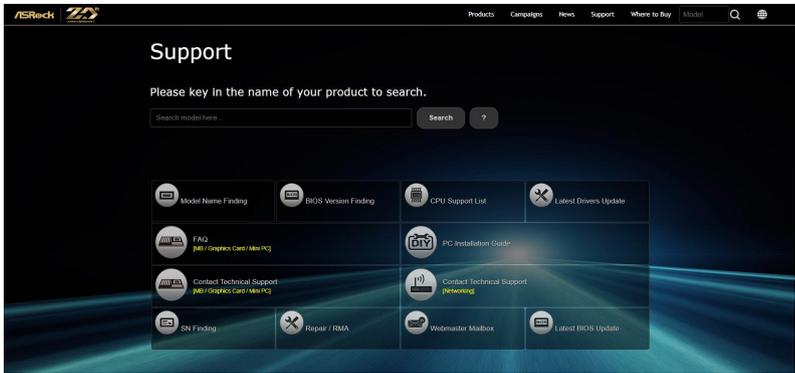
ドライバーのインストールが完了すると、自動ドライバー インストーラー ツールがコンピューターから自動的にアンインストールされます。



ドライバーのインストール後、自動ドライバー インストーラーは削除されます。アプリケーションを再度実行する場合は、BIOS 設定の「Tool (ツール)」メニューに移動し、「Auto Driver Installer (自動ドライバー インストーラー)」項目を「Enabled (有効)」に設定してください。

2.1.2 ドライバーの更新

ドライバーを更新すると、システムが問題なく正常に動作することが保証されます。ドライバーを更新するには、ASRock の Web サイト (<https://www.asrock.com>) にアクセスし、「Support (サポート)」> 「Latest Drivers Update (最新のドライバーの更新)」を選択してください。



2.2 ASRock ライブ更新と APP ショップ

ASRock ライブ更新と APP ショップは、ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。さまざまなアプリケーションとサポートユーティリティを素早く簡単にインストールできます。ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) を使用すれば、数回クリックするだけで、システムを最適化して、マザーボードを最新の状態に維持できます。

2.2.1 ASRock ライブ更新と APP ショップ のインストール

ASRock の Web サイトから ASRock ライブ更新と APP ショップ ユーティリティをダウンロードしてください：「<https://www.asrock.com>」。

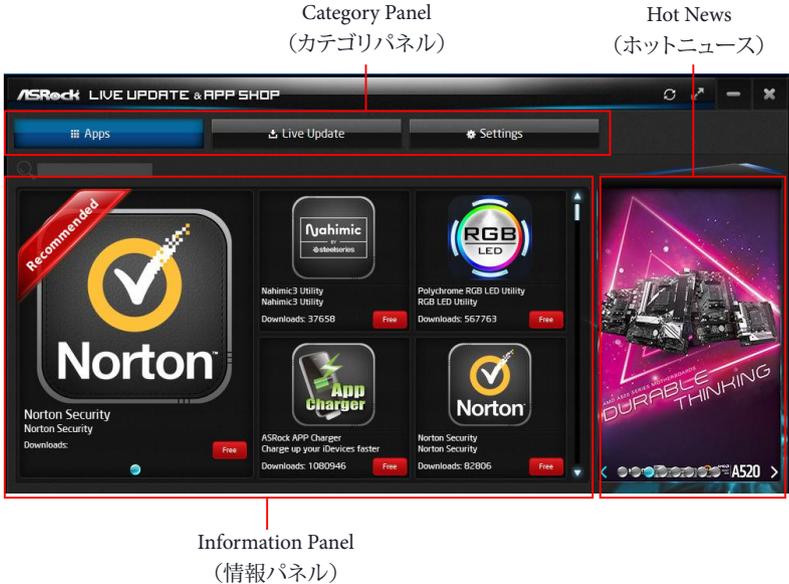
マザーボードの製品ページに移動し、「Support (サポート)」>「Download (ダウンロード)」を選択して APP ショップをダウンロードします。

Description	OS	Size	Date	Download
Realtek high definition audio driver ver.9231.1_UAD_WHQL_Nahimic	Windows® 11 64bit	55.5MB	2021/10/12	🌐 Global 🇨🇳 China
AMD chipset driver ver.3.10.22.706	Windows® 11 64bit	50.33MB	2021/11/30	🌐 Global 🇨🇳 China
Killer Lan driver ver:3.0.1606	Windows® 11 64bit	38.8MB	2021/10/8	🌐 Global 🇨🇳 China
AMD RAIDXpert2 utility ver.9.2.0.158	Windows® 11 64bit	95.4MB	2021/5/31	🌐 Global 🇨🇳 China
SATA Floppy Image_CC ver:9.3.0.296	Windows® 11 64bit	361KB	2022/2/8	🌐 Global 🇨🇳 China
SATA Floppy Image_DID ver:9.3.0.296	Windows® 11 64bit	361KB	2022/2/8	🌐 Global 🇨🇳 China
NVIDIA_DIB Supported AMD processors: (Renoir) - AMD Ryzen™ 3000 Series Desktop Processors with Radeon™ Graphics (Cezanne) - AMD Ryzen™ 4000 Series Desktop Processors with Radeon™ Graphics	Windows® 11 64bit	361KB	2022/2/8	🌐 Global 🇨🇳 China
VGA driver ver.21.30.02.210727a_0827	Windows® 11 64bit	587MB	2021/10/8	🌐 Global 🇨🇳 China
ASRock Motherboard Utility ver.3.0.466	Windows® 11 64bit	59.40MB	2023/5/17	🌐 Global 🇨🇳 China
APP Shop ver:1.0.52	Windows® 11 64bit	3.91MB	2021/5/31	🌐 Global 🇨🇳 China
Nahimic3 utility ver.210913_APO4	Windows® 11 64bit	85.3MB	2021/11/8	🌐 Global 🇨🇳 China
Norton Security ver.22.21.5	Windows® 11 64bit	232MB	2021/10/8	🌐 Global 🇨🇳 China
Restart to UEFI ver.1.0.9	Windows® 11 64bit	1.01MB	2021/10/8	🌐 Global 🇨🇳 China
[Beta] ASRock Motherboard Utility ver.3.0.441	Windows® 11 64bit	59.31MB	2021/12/14	🌐 Global 🇨🇳 China

インストール後、デスクトップ上の  をダブルクリックして ASRock ライブ更新と APP ショップ ユーティリティにアクセスします。

*ASRock ライブ更新と APP ショップからアプリケーションをダウンロードするにはインターネットに接続している必要があります。

2.2.2 UI 概要



Category Panel (カテゴリパネル)：カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに關係する情報が表示されます。

Information Panel (情報パネル)：中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに關係するタスクを実行できます。

Hot News (ホットニュース)：ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

2.2.3 アプリ

「Apps(アプリ)」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順 1

インストールしたいアプリを検索します。



最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

Free - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free(無料)」と表示されます。

Installed - 緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順 2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

手順 3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン  をクリックしてダウンロードを開始します。



手順 4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed (インストール済み)」アイコンが表示されます。



アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン  をクリックします。

* アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version (新しいバージョン)」のマークが表示されます。



手順 1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

 黄色のアイコン をクリックしてアップグレードを開始します。

2.2.4 BIOS とドライバー

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。速やかにすべて更新してください。



手順 1

更新する前に項目情報を確認してください。🗨️ をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

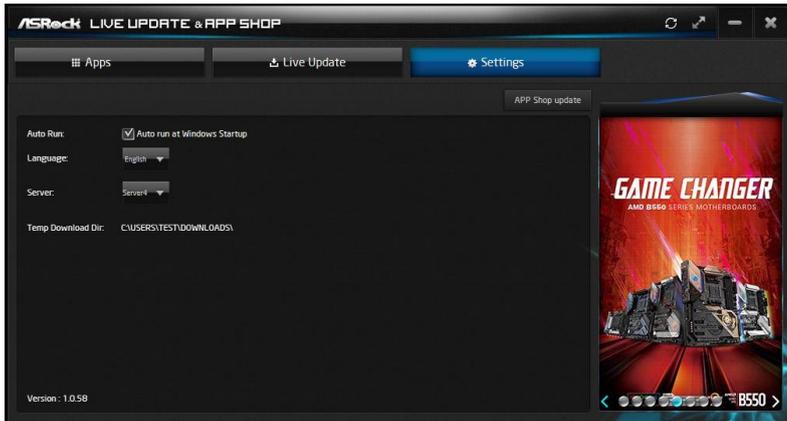
更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順 3

「Update(更新)」をクリックして更新処理を開始します。

2.2.5 設定

「Setting(設定)」ページで、言語を変更したり、サーバーの場所を選択したり、Windows 起動時に ASRock ライブ更新と APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。



2.3 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning)

ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを搭載し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されました。

2.3.1 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) のインストール

ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) を ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) からダウンロードできます。

ASRock の Web サイトからユーティリティをダウンロードすることもできます：
「<https://www.asrock.com>」。マザーボードの製品ページに移動し、「Support (サポート)」>「Download (ダウンロード)」を選択して、「ASRock マザーボード ユーティリティ」をダウンロードします。

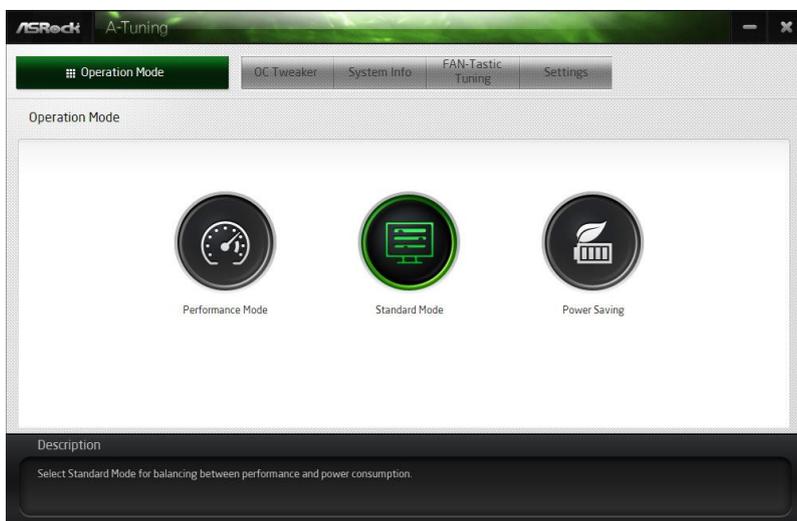
インストール後、デスクトップに「ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning)」アイコンが表示されます。「ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning)」アイコン  をダブルクリックすると、ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) のメインメニューが表示されます。

2.3.2 ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) の使用

ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) のメインメニューには次の 5 つのセクションがあります：Operation Mode (操作モード)、OC Tweaker (OC 調整)、System Info (システム情報)、FAN-Tastic Tuning (FAN-Tastic チューニング)、Settings (設定)。

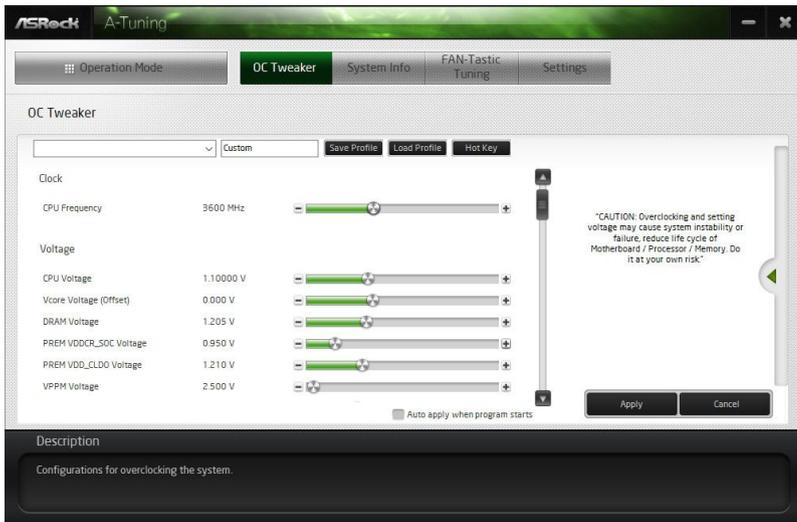
Operation Mode (操作モード)

コンピューターの操作モードを選択します。



OC Tweaker (OC 調整)

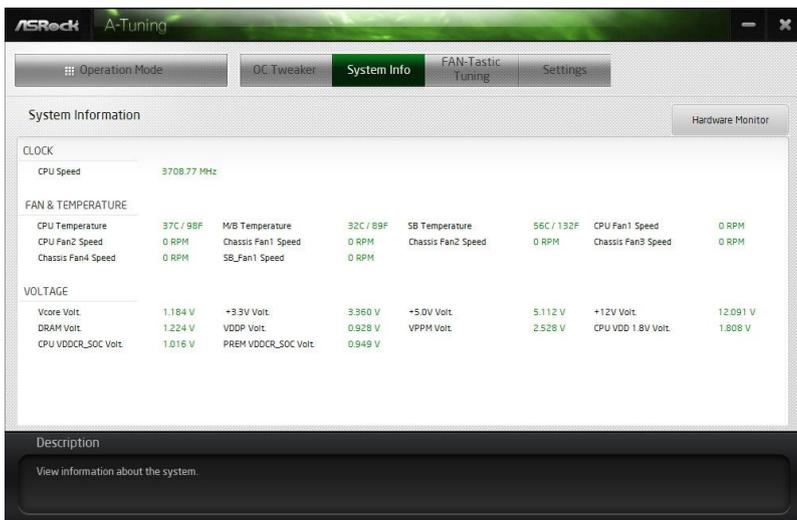
システムのオーバークロック設定。



System Info (システム情報)

システムに関する情報を表示します。

* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。



FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

Fan Power	Fan Speed
100%	N/A RPM
90%	N/A RPM
80%	N/A RPM
70%	N/A RPM
60%	N/A RPM
50%	N/A RPM
40%	N/A RPM
30%	N/A RPM
20%	N/A RPM
10%	N/A RPM

Description
Configure different fan speeds for respective temperatures using the graph.
The fans will automatically shift to the next speed level when the assigned temperature is met.

Settings (設定)

ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) を構成します。Windows オペレーティングシステムの起動時に ASRock マザーボード ユーティリティ (A-Tuning) を起動する場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行)」をクリックして選択します。

Settings

Auto run at Windows Startup

Description
Configure ASRock A-Tuning.

Version : 3.0.466

2.4 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning)

ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを搭載し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されました。

2.4.1 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) のインストール

ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) を ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) からダウンロードできます。

ASRock の Web サイトからユーティリティをダウンロードすることもできます：
「<https://www.asrock.com>」。マザーボードの製品ページに移動し、「Support (サポート) 」> 「Download (ダウンロード) 」を選択して、「ASRock マザーボード ユーティリティ」をダウンロードします。

インストール後、デスクトップに「Phantom Gaming Tuning」アイコンが表示されます。

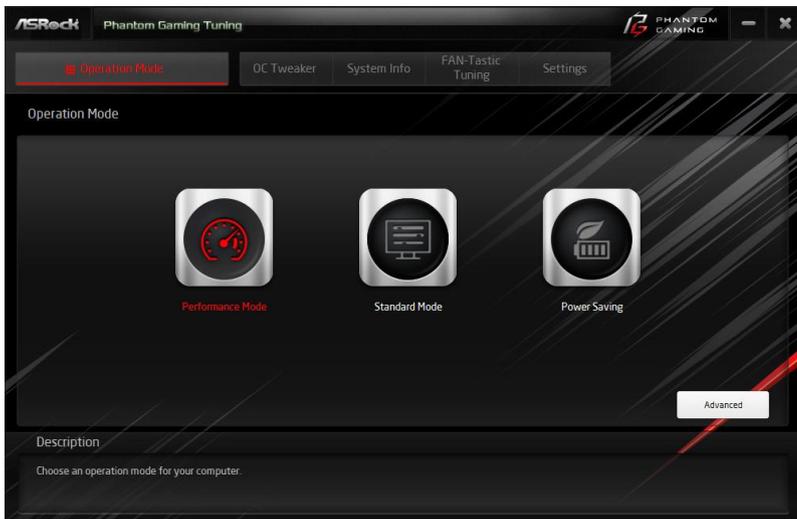
「Phantom Gaming Tuning」 アイコンをダブルクリックすると、Phantom Gaming Tuning のメイン メニューがポップアップ表示されます。

2.4.2 ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) の使用

ASRock マザーボード ユーティリティ (Phantom Gaming Tuning) のメイン メニューには次の 5 つのセクションがあります：Operation Mode(操作モード)、OC Tweaker(OC 調整)、System Info(システム情報)、FAN-Tastic Tuning(FAN-Tastic チューニング)、Settings(設定)。

Operation Mode (操作モード)

コンピューターの操作モードを選択します。



OC Tweaker (OC 調整)

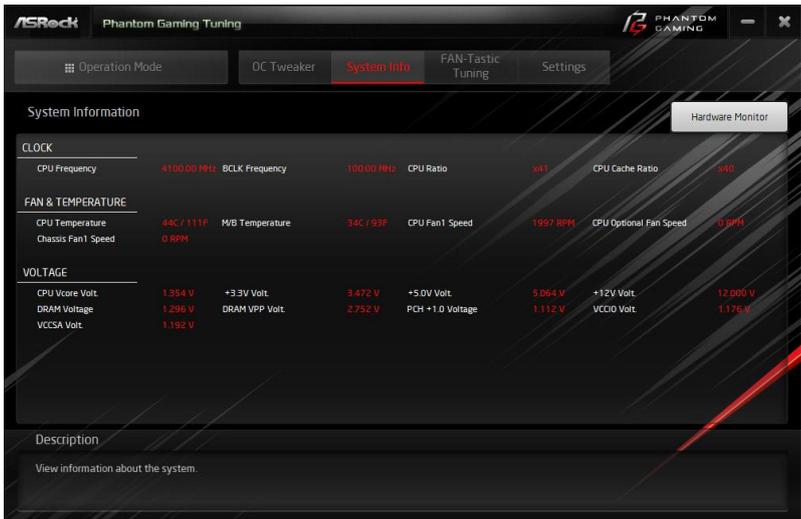
システムのオーバークロック設定。



System Info (システム情報)

システムに関する情報を表示します。

* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。



FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

FAN-Tastic Tuning

CHASSIS FAN1 | CPU Temp | MB Temp

Start FAN Test

Fan Power	Fan Speed
100%	N/A RPM
90%	N/A RPM
80%	N/A RPM
70%	N/A RPM
60%	N/A RPM
50%	N/A RPM
40%	N/A RPM
30%	N/A RPM
20%	N/A RPM
10%	N/A RPM

Auto apply when program starts

Apply Cancel

Description

Configure different fan speeds for respective temperatures using the graph. The fans will automatically shift to the next speed level when the assigned temperature is met.

Settings (設定)

ASRock Phantom Gaming Tuning を構成します。Windows オペレーティング システムの起動時に Phantom Gaming Tuning を起動する場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行)」をクリックして選択します。

Settings

Auto run at Windows Startup

Description

Configure ASRock Phantom Gaming.

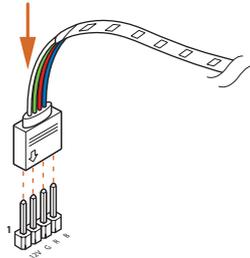
Version: 3.0.230

2.5 ASRock Polychrome SYNC

ASRock Polychrome SYNC は、ご自分の好みに合わせて独自のスタイリッシュでカラフルなライティングシステムをビルドしたいという個性的なユーザー向けに特別設計されたライティング制御機能です。LED ストリップを接続するだけで、「Static」、「Breathing」、「Strobe」、「Cycling」、「Music」、「Wave」などのさまざまライティングスキームとパターンをカスタマイズできます。

2.5.1 LED ストリップを接続する

RGB LED ストリップをマザーボード上の **RGB LED ヘッダー** に接続します。



RGB LED ヘッダー



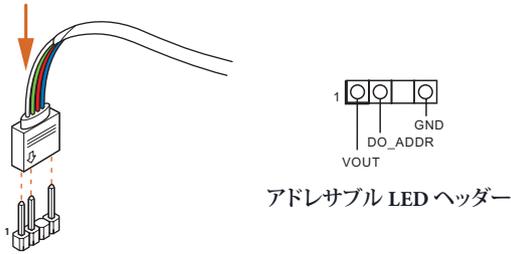
1. RGB LED ケーブルは間違った方向に取り付けしないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。
2. RGB LED ケーブルを取り付けたり取り外す前には、システムの電源を切って、電源供給から電源コードを取り外してください。そうしないと、マザーボードコンポーネントが破損することがあります。



1. RGB LED ストリップはパッケージには含まれていません。
2. RGB LED ヘッダーは、最大出力規格 3A (12V) で長さが2メートル以内の標準 5050 RGB LED ストリップ (12V/G/R/B) に対応します。

2.5.2 アドレスابل RGB LED ストリップを接続する

アドレスابل RGB LED ストリップをマザーボード上のアドレスابل RGB LED ヘッダーに接続します。



1. RGB LED ケーブルは間違った方向に取り付けしないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。
2. RGB LED ケーブルを取り付けたり取り外す前には、システムの電源を切って、電源供給から電源コードを取り外してください。そうしないと、マザーボードコンポーネントが破損することがあります。



1. RGB LED ストリップはパッケージには含まれていません。
2. RGB LED ヘッダーは、最大定格 3A (5V)、長さ 2メートルまでの WS2812B アドレスابل RGB LED ストリップ (5V/ Data /GND) に対応します。

2.5.3 Installing ASRock Polychrome SYNC ユーティリティのインストール

必要な LED ストリップを接続したら、ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) から ASRock Polychrome SYNC ユーティリティをダウンロードします。ASRock の Web サイトからユーティリティをダウンロードすることもできます：

「<https://www.asrock.com>」。マザーボードの製品ページに移動し、「Support (サポート) 」> 「Download (ダウンロード) 」を選択して ASRock Polychrome RGB をダウンロードします。

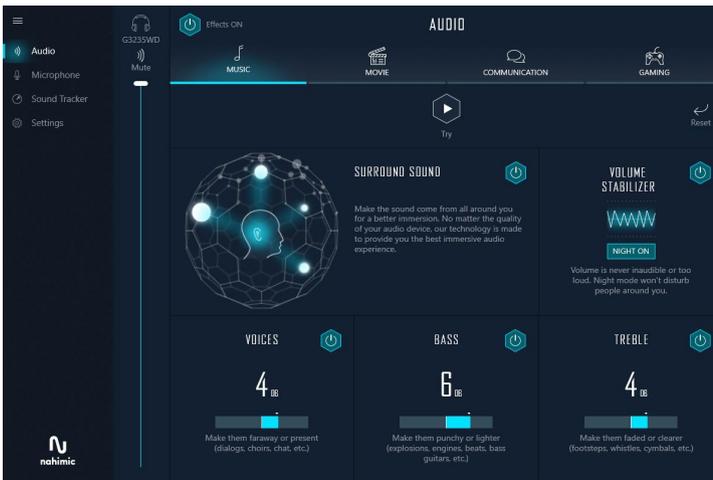
このユーティリティを使用して RGB LED の色を調整し、PC のスタイルを思いのままに色付けすることができます。



2.6 Nahimic Audio (Nahimic オーディオ)

Nahimic オーディオソフトウェアは、素晴らしいハイデフィニションサウンドを提供して、システムのオーディオおよびボイス性能を向上させます。Nahimic オーディオインターフェースは次の4つのタブで構成されます：Audio(オーディオ)、Microphone(マイクروفोन)、Sound Tracker(サウンドトラッカー)、Settings(設定)。

ASRock Live Update & APP Shop(ASRock ライブ更新と APP ショップ)からこのユーティリティをダウンロードしてください。ASRock の Web サイトからユーティリティをダウンロードすることもできます：「<https://www.asrock.com>」。マザーボードの製品ページに移動し、「Support (サポート)」>「Download (ダウンロード)」を選択して Nahimic ユーティリティをダウンロードします。



Nahimic オーディオには4つの機能があります：

番号	機能	説明
1	Audio (オーディオ)	このタブから、現在のオーディオデバイスを消音にしたり、4つの工場出荷時オーディオプロファイルから選択したり、すべてのオーディオ効果をオン / オフにしたり、または、現在のプロファイルをデフォルト設定に復元したり、さらに、Surround Sound (サラウンドサウンド) およびさまざまな機能にアクセスできます。
2	Microphone (マイクروفोन)	このタブから、現在のマイクデバイスを消音にしたり、2つの工場出荷時マイクプロファイルから選択したり、すべてのマイクروفोन効果をオン / オフにしたり、または、現在のプロファイルをデフォルト設定に復元したり、さらに、Static Noise Suppression (静的ノイズ抑制) およびさまざまな機能にアクセスできます。

- | | | |
|---|------------------------------|---|
| 3 | Sound Tracker
(サウンドトラッカー) | Sound Tracker(サウンドトラッカー)は、ゲーム中に、音源の位置を視覚的に表示します。サウンドの方向を示すダイナミックセグメントで表示されます。ダイナミックセグメントが不透明なほどサウンドが強くなります。 |
| 4 | Settings
(設定) | このタブから、ソフトウェアのすべての設定と情報にアクセスできます。 |

第3章 UEFI セットアップユーティリティ

3.1 はじめに

ASRock UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、高度な表示インターフェースで調整しやすいオプションを提供する BIOS ユーティリティです。UEFI システムは USB マウスで動作し、ユーザーに高速で洗練されたエクスペリエンスを提供します。

この BIOS ユーティリティは、システムの起動時に POST (Power-On Self-Test) を実行したり、システムのハードウェア パラメーターを記録したり、オペレーティング システムをロードすることができます。マザーボードのバッテリーは、システムの電源がオフになっているときに CMOS に必要な電力を供給し、UEFI ユーティリティで構成された値は CMOS に保持されます。

BIOS 設定が不適切であると、システムが不安定になったり、誤動作したり、起動に失敗したりする可能性がありますので注意してください。UEFI のデフォルト構成を変更しないこと、あるいはトレーニングを受けたサービス担当者の支援がある場合にのみ設定を変更することを強くお勧めします。

設定を変更した後、システムが不安定になったり、起動に失敗した場合は、CMOS 値をクリアして、ボードをデフォルト値にリセットしてみてください。手順については、マザーボードのマニュアルを参照してください。

3.1.1 BIOS セットアップに入る

UEFI セットアップ ユーティリティ は、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または を押すことによって起動できます。ユーティリティを起動しなければ、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップ ユーティリティを開始するには、<Ctrl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムをシャットダウンした後、再度電源を入れても、ユーティリティを起動することができます。

このセットアップ ガイドでは、UEFI セットアップ ユーティリティを使用して、サポートされているすべてのシステムを構成する方法について説明します。このマニュアルのスクリーンショットは参考用です。UEFI 設定とオプションは、異なる BIOS リリース バージョンまたは取り付けられている CPU によって異なる場合があります。詳細な画面、設定、オプションについては、購入したマザーボードの実際の BIOS バージョンを参照してください。

3.1.2 UEFI メニュー バー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main (メイン) システムの時間 / 日付情報の設定

**OC Tweaker
(OC 調整)** オーバークロック設定

**Advanced
(詳細設定)** システムの詳細設定

Tool (ツール) 便利なツール

**H/W Monitor
(H/W モニター)** 現在のハードウェアステータスを表示

**Security
(セキュリティ)** セキュリティ設定

Boot (ブート) ブート設定およびブートの優先順位の設定

Exit (終了) 現在の画面または UEFI セットアップ ユーティリティを終了



UEFI ソフトウェアは常に更新されているため、以下の UEFI セットアップ画面と説明は参照のみを目的としています。また、最新の BIOS とは異なる場合があります、画面に表示される内容と正確に一致しない場合があります。



BIOS 設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンプォネントやデバイスが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

3.1.3 ナビゲーション キー

メニューバーのカテゴリを選択するには、<←> キーまたは <→> キーを使用します。カーソルを上下に動かしアイテムを選択するには、<↑> キーまたは <↓> キーを使用し、<Enter> を押してサブ画面に移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読み込み
<F10>	変更を保存して、セットアップユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

3.2 Main (メイン) 画面

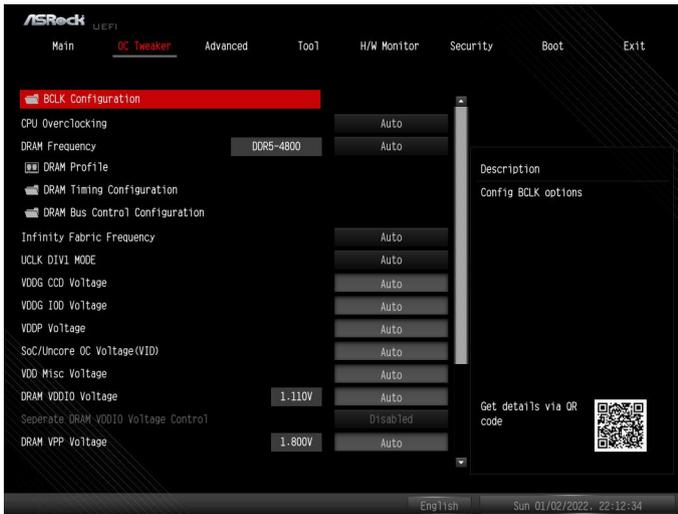
UEFI セットアップユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。オプションは、マザーボードの機能によっても異なる場合があります。

3.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。



BCLK Configuration (BCLK の構成)

[Enter] を押して BCLK オプションを構成します。

BCLK Frequency (BCLK 周波数)

CPU の速度は、CPU レシオに BCLK が掛け合わされて決まります。BCLK を上げると、内部の CPU クロック速度を上げられますが、他のコンポーネントのクロック速度にも影響をします。

BCLK SSC Mode (BCLK SSC モード)

BCLK スペクトラム拡散モードを選択できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Down Spreading 0.10% (下方散布 0.10%)] [Down Spreading 0.25% (下方散布 0.25%)] [Down Spreading 0.50% (下方散布 0.50%)] [Center Spreading 0.10% (中央散布 0.10%)] [Center Spreading 0.25% (中央散布 0.25%)] [Center Spreading 0.50% (中央散布 0.50%)]

BCLK Frequency F0D1 (BCLK 周波数 F0D1)

CPU の速度は、CPU レシオに BCLK が掛け合わされて決まります。BCLK を上げると、内部の CPU クロック速度を上げられますが、他のコンポーネントのクロック速度にも影響をします。

F0D1 SSD Mode (F0D1 SSD モード)

BCLK スペクトラム拡散モードを選択できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Down Spreading 0.10% (下方散布

0.10%) [Down Spreading 0.25% (下方散布 0.25%)] [Down Spreading 0.50% (下方散布 0.50%)] [Center Spreading 0.10% (中央散布 0.10%)] [Center Spreading 0.25% (中央散布 0.25%)] [Center Spreading 0.50% (中央散布 0.50%)]

Spectrum Spreading Share (スペクトラム拡散シェア)

2つのSSCエンジンの変調周波数が同じ場合、このビットを1に設定すると、F0D1SSCの位相がF0D0SSCに揃えられます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

CPU Overclocking (CPU オーバークロック)

CPU オーバークロック設定を構成できます。

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトのBCLK Delay (BCLK 遅延) 設定を適用します。

[Customize (カスタマイズ)] この項目を選択して、BCLK Delay (BCLK 遅延) 設定をカスタマイズします。

DRAM Frequency (DRAM 周波数)

[Auto (自動)] が選択されている場合、マザーボードは挿入されているメモリモジュールを検出し、適切な周波数を自動的に割り当てます。

DRAM Profile (DRAM プロファイル)

XMP 設定を読み込んでメモリをオーバークロックし、標準仕様を上回る性能を実現します。

DRAM Timing Configuration (DRAM のタイミング設定)

DRAM タイミングを構成できます。

CAS# Latency (tCL) (CAS# レイテンシー (tCL))

コラムアドレスのメモリへの送信から、データが応答までの時間。

RAS# to CAS# Delay to Read (tRCDRD) (RAS# から CAS# までの読み取り遅延 (tRCDRD))

メモリの行を開いてから、そのうちの列へのアクセスまでに要するクロックサイクル数。

Row Precharge Time (tRP) (行プリチャージ時間 (tRP))

プリチャージ コマンドを発行してから、次の行が開かれるまでに要するクロックサイクル数。

RAS# Active Time (tRAS) (RAS# アクティブ時間 (tRAS))

バンクアクティブ コマンドから、プリチャージ コマンドを発行するまでに要するクロックサイクル数。

RAS# Cycle Time (tRC) (RAS# サイクル タイム (tRC))

activate コマンドから別の activate コマンドまでのメモリ クロック サイクル数。

Write Recovery Time (tWR) (書き込み回復時間 (tWR))

有効な書き込み操作の完了後、アクティブなバンクがプリチャージされるまでに必要な遅延量。

Refresh Cycle Time (tRFC1) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFC1))

Refresh Recovery Delay Time (リフレッシュ回復遅延時間) を指定します。

Refresh Cycle Time (tRFC2) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFC2))

Refresh Recovery Delay Time (リフレッシュ回復遅延時間) を指定します。

Refresh Cycle Time (tRFCsb) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFCsb))

Refresh Recovery Delay Time (リフレッシュ回復遅延時間) を指定します。

Read to Precharge (tRTP) (読み取りからプリチャージまで (tRTP))

読み取りコマンドから、同じランクへの行のプリチャージコマンドまでに挿入されたクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_L) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_L))

同じランクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_S) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_S))

同じランクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

Four Activate Window (tFAW) (4 つのアクティベート ウィンドウ (tFAW))

4 つのアクティベートが同じランクで許可される時間枠を指定します。

Write to Read Delay (tWTR_L) (書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_L))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Write to Read Delay (tWTR_L) (書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_L))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

TrdrdScL

同じバンクグループの同じチップセットにおける、最初の読み取りバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の読み取りバースト操作に対して CAS がアサートされるクロックまでのサイクルの最小数。

TrdrdSc

同じチップ選択における、最初の読み取りバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の読み取りバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TrdrdSd

同じ DIMM における、最初の読み取りバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の読み取りバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TrdrdDd

異なる DIMM における、最初の読み取りバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の読み取りバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TwrwrScL

同じバンクグループにおける、最初の書き込みバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の書き込みバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TwrwrSc

同じチップ選択における、最初の書き込みバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の書き込みバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TwrwrSd

同じ DIMM における、最初の書き込みバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の書き込みバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

TwrwrDd

異なる DIMM における、最初の書き込みバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の書き込みバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

Twrdd

最初の書き込みバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の読み取りバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

Trdwr

最初の読み取りバースト操作の仮想 CAS の最後のクロックから、次の書き込みバースト操作に対して CAS が適用されるクロックまでのサイクルの最小数。

DRAM Bus Control Configuration (DRAM バス制御構成)

[Enter] を押して DRAM Bus Control Configuration (DRAM バス制御構成) オプションを構成します。

電源オフの有効化

DDR5 パワー ダウン モードを有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Dram ODT impedance RTT_NOM_RD (ドラム ODT インピーダンス RTT_NOM_RD)

Dram ODT impedance RTT_NOM_RD (ドラム ODT インピーダンス RTT_NOM_RD) を指定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [RTT_OFF] [RZQ (240)] [RZQ/2 (120)] [RZQ/3 (80)] [RZQ/6 (60)] [RZQ/5 (48)] [RZQ/6 (40)] [RZQ/7 (34)]

Dram ODT impedance RTT_NOM_WR (ドラム ODT インピーダンス RTT_NOM_WR)

Dram ODT impedance RTT_NOM_WR (ドラム ODT インピーダンス RTT_NOM_WR) を指定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [RTT_OFF] [RZQ (240)] [RZQ/2 (120)] [RZQ/3 (80)] [RZQ/6 (60)] [RZQ/5 (48)] [RZQ/6 (40)] [RZQ/7 (34)]

Dram ODT impedance RTT_WRR (ドラム ODT インピーダンス RTT_WR)

Dram ODT impedance RTT_WR (ドラム ODT インピーダンス RTT_WR) を指定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [RTT_OFF] [RZQ (240)] [RZQ/2 (120)] [RZQ/3 (80)] [RZQ/6 (60)] [RZQ/5 (48)] [RZQ/6 (40)] [RZQ/7 (34)]

Dram ODT impedance RTT_PARK (ドラム ODT インピーダンス RTT_PARK)

Dram ODT impedance RTT_PARK (ドラム ODT インピーダンス RTT_PARK) を指定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [RTT_OFF] [RZQ (240)] [RZQ/2 (120)] [RZQ/3 (80)] [RZQ/6 (60)] [RZQ/5 (48)] [RZQ/6 (40)] [RZQ/7 (34)]

Dram ODT impedance DQS_RTT_PARK (ドラム ODT インピーダンス DQS_RTT_PARK)

Dram ODT impedance DQS_RTT_PARK (ドラム ODT インピーダンス DQS_RTT_PARK) を指定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [RTT_OFF] [RZQ (240)] [RZQ/2 (120)] [RZQ/3 (80)] [RZQ/6 (60)] [RZQ/5 (48)] [RZQ/6 (40)] [RZQ/7 (34)]

Dram DQ drive strengths (ドラム DQ ドライブ強度)

すべての DQ および DMI IO のドラム プルアップおよびプルダウンドライバー インピーダンスを選択できます。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Processor ODT impedance (プロセッサ ODT インピーダンス)

Processor ODT impedance (プロセッサ ODT インピーダンス) を指定できます。

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Processor DQ drive strengths (プロセッサ DQ ドライブ強度)

Processor DQ drive strengths (プロセッサ DQ ドライブ強度) を指定できます。

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Processor CA drive strengths (プロセッサ CA ドライブ強度)

Processor CA drive strengths (プロセッサ CA ドライブ強度) を指定できます。

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Infinity Fabric Frequency and Dividers (Infinity Fabric の周波数と分周器)

AMD Overclocking Setup (AMD オーバークロック設定) : Infinity Fabric frequency (FCLK) (Infinity Fabric 周波数 (FCLK)) を設定します。

[Auto (自動)] $FCLK = MCLK$ 。

[Manual (手動)] ほとんどの場合、最高のパフォーマンスを得るには、FCLK を MCLK 以下にする必要があります。FCLK と MCLK が一致しない場合、レイテンシペナルティが発生しますが、MCLK が十分に高い場合は、このペナルティを無効にするか、克服することができます。

UCLK DIV1 MODE (UCLK DIV1 モード)

UCLK DIV mode (UCLK DIV モード) を設定できます。

VDDG CCD Voltage (VDDG CCD 電圧)

VDDG CCD は、Infinity Fabric のデータ部分の電圧を表します。これは、CPU SoC/Uncore 電圧 (VDD_SOC) から抽出されます。VDDG は、VDD_SOC に達することがありますが、VDD_SOC を超えることはありません。

VDDG IOD Voltage (VDDG IOD 電圧)

VDDG IOD は、Infinity Fabric のデータ部分の電圧を表します。これは、CPU SoC/Uncore 電圧 (VDD_SOC) から抽出されます。VDDG は、VDD_SOC に達することがありますが、VDD_SOC を超えることはありません。

VDDP Voltage (VDDP 電圧)

VDDP は DDR バス シグナリング (PHY) の電圧であり、DRAM 電圧 (VDDIO_Mem) から導出されます。結果、VDDP 電圧に達することがありますが、DRAM 電圧を超えることはありません。

SoC/Uncore OC Voltage (VID) (SoC/Uncore OC 電圧 (VID))

SoC/Uncore 電圧 (VDD_SOC) を指定して、メモリと Infinity Fabric のオーバークロックをサポートできます。VDD_SOC は、グラフィックスが統合されたプロセッサの GPU 電圧も決定します。

VDD Misc Voltage (VDD その他の電圧)

PCIe、DP Phy、PLL、ClkGen、Pmux 供給を構成できます。

DRAM VDDIO Voltage (DRAM VDDIO 電圧)

この項目を使用して、VDDIO Voltage (VDDIO 電圧) を構成します。

Separate DRAM VDDIO Voltage Control (セパレート DRAM VDD 電圧制御)

Separate DRAM VDDIO Voltage (セパレート DRAM VDD 電圧) 制御設定を構成できます。

DRAM VPP Voltage (DRAM VPP 電圧)

DRAM 側の PMIC によってサポートされる VPP Voltage (VPP 電圧) を設定できます。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

External Voltage Settings (外部電圧設定)

[Enter] を押して電圧オプションを構成します。

VDDCR_CPU Voltage (VDDCR_CPU 電圧)

外部電圧レギュレーターによるプロセッサ電圧を入力します。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの VDDCR_CPU 電圧設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで VDDCR_CPU 電圧オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 VDDCR_CPU 電圧値を設定できます。

VDDCR_CPU Load-Line Calibration (VDDCR_CPU ロードライン校正)

Load-Line (ロードライン) は Intel VRM Spec で定義されており、CPU の電源電圧に影響します。システムの負荷が大きいときに、CPU の電圧垂下を防ぐのを助けます。より高いロードライン (レベル 1 または無効) の校正では、電圧が高くなり、オーバークロックパフォーマンスが向上しますが、CPU と VRM の温度が上昇します。

設定オプション: [Auto(自動)] [Level1(レベル 1)]-[Level5(レベル 5)]

VDDCR_CPU Auto Phase (VDDCR_CPU 自動位相)

VDDCR_CPU Auto Phase (VDDCR_CPU 自動位相) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Auto Phase (VDDCR_CPU 自動位相) サポートを有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Auto Phase (VDDCR_CPU 自動位相) サポートを無効にします。

VDDCR_CPU Over Voltage Protection (VDDCR_CPU 過電圧保護)

VDDCR_CPU Over Voltage Protection (VDDCR_CPU 過電圧保護) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Over Voltage Protection (VDDCR_CPU 過電圧保護) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Over Voltage Protection (VDDCR_CPU 過電圧保護) を無効にします。

VDDCR_CPU Over Current Protection (VDDCR_CPU 過電流保護)

VDDCR_CPU Over Current Protection (VDDCR_CPU 過電流保護) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Over Current Protection (VDDCR_CPU 過電流保護) サポートを有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU Over Current Protection (VDDCR_CPU 過電流保護) を無効にします。

VDDCR_CPU VR_HOT

VDDCR_CPU VR_HOT を構成できます。

VDDCR_CPU OTP Mode (VDDCR_CPU OTP モード)

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU OTP Mode (VDDCR_CPU OTP モード) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_CPU OTP Mode (VDDCR_CPU OTP モード) を無効にします。

VDDCR_CPU OTP Temperature (VDDCR_CPU OTP 温度)

VDDCR_CPU OTP Temperature (VDDCR_CPU OTP 温度) を構成できます。

VDDCR_SOC Voltage (VDDCR_SOC 電圧)

外部電圧レギュレーターによるプロセッサ電圧を入力します。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの VDDCR_SOC 電圧設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで VDDCR_SOC 電圧オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 VDDCR_SOC 電圧値を設定できます。

VDDCR_SOC Load-Line Calibration (VDDCR_SOC ロードライン校正)

VDDCR_SOC Load-Line Calibration (VDDCR_SOC ロードライン校正) は、システムの負荷が高い場合に CPU の電圧降下を防ぐのに役立ちます。

設定オプション：[Auto(自動)] [Level1(レベル 1)]-[Level5(レベル 5)]

VDDCR_SOC Auto Phase (VDDCR_SOC 自動位相)

VDDCR_SOC Auto Phase (VDDCR_SOC 自動位相) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_SOC Auto Phase (VDDCR_SOC 自動位相) サポートを有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_SOC Auto Phase (VDDCR_SOC 自動位相) サポートを無効にします。

VDDCR_SOC VR_HOT

VDDCR_SOC VR_HOT を構成できます。

VDDCR_SOC OTP Mode (VDDCR_SOC OTP モード)

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDDCR_SOC OTP Mode (VDDCR_SOC OTP モード) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDDCR_SOC OTP Mode (VDDCR_SOC OTP モード) を無効にします。

VDDCR_SOC OTP Temperature (VDDCR_SOC OTP 温度)

VDDCR_SOC OTP Temperature (VDDCR_SOC OTP 温度) を構成できます。

VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧)

外部電圧レギュレーターによるプロセッサ電圧を入力します。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧) 設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧) オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 VDDCR_MISC 電圧値を設定できます。

VDD_MISC Load-Line Calibration (VDD_MISC ロードライン校正)

VDD_MISC Load-Line Calibration (VDD_MISC ロードライン校正) は、システムの負荷が高い場合に CPU の電圧低下を防ぐのに役立ちます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Level 1 (レベル 1)]-[Level 5 (レベル 5)]

VDD_MISC Auto Phase (VDD_MISC 自動位相)

VDD_MISC Auto Phase (VDD_MISC 自動位相) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDD_MISC Auto Phase (VDD_MISC 自動位相) サポートを有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDD_MISC Auto Phase (VDD_MISC 自動位相) サポートを無効にします。

VDD_MISC Over Voltage Protection (VDD_MISC 過電圧保護)

VDD_MISC Over Voltage Protection (VDD_MISC 過電圧保護) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDD_MISC Over Voltage Protection (VDD_MISC 過電圧保護) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDD_MISC Over Voltage Protection (VDD_MISC 過電圧保護) を無効にします。

VDD_MISC Over Current Protection (VDD_MISC 過電流保護)

VDD_MISC Over Current Protection (VDD_MISC 過電流保護) を構成できます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDD_MISC Over Current Protection (VDD_MISC 過電流保護) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDD_MISC Over Current Protection (VDD_MISC 過電流保護) を無効にします。

VDD_MISC VR_HOT

VDD_MISC VR_HOT を構成できます。

VDD_MISC OTP Mode (VDD_MISC OTP モード)

[Enabled (有効)] この項目を選択して、VDD_MISC OTP Mode (VDD_MISC OTP モード) を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、VDD_MISC OTP Mode (VDD_MISC OTP モード) を無効にします。

VDD_MISC OTP Temperature (VDD_MISC OTP 温度)

VDD_MISC OTP Temperature (VDD_MISC OTP 温度) を構成できます。

VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧)

VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧) の電圧を構成できます。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧) 設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで VDD_MISC Voltage (VDD_MISC 電圧) オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 VDD_MISC 電圧値を設定できます。

1.8VSB Voltage (1.8VSB 電圧)

1.8VSB Voltage (1.8VSB 電圧) の電圧を構成できます。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

+1.05V_RUN Voltage (+1.05V_RUN 電圧)

+1.05V_RUN Voltage (+1.05V_RUN 電圧) の電圧を構成できます。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

+1.05V_ALW Voltage (+1.05V_ALW 電圧)

+1.05V_ALW Voltage (+1.05V_ALW 電圧) の電圧を構成できます。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Save User Default (ユーザー定義の保存)

設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default (ユーザー定義の読み込み)

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

Save User UEFI Setup Profile to Disk (ユーザー UEFI セットアップポートフォリオをディスクに保存)

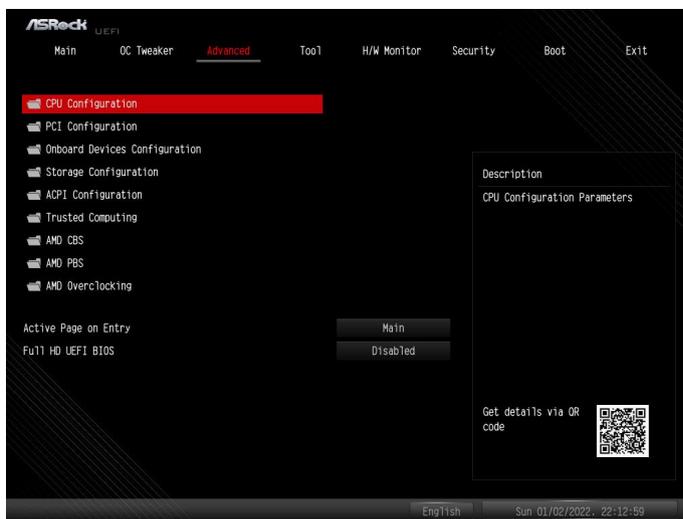
現在の UEFI 設定をユーザーデフォルトプロファイルとしてディスクに保存します。

Load User UEFI Setup Profile to Disk (ユーザー UEFI セットアッププロファイルを読み込む)

前に保存したユーザーデフォルトをディスクから読み込みます。

3.4 Advanced (詳細) 画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます：CPU Configuration (CPU 構成)、PCI Configuration (PCI 構成)、Onboard Devices Configuration (オンボード デバイス構成)、Storage Configuration (ストレージ構成)、ACPI Configuration (ACPI 構成)、Trusted Computing (トラステッド コンピューティング)、AMD CBS、AMD PBS、AMD Overclocking (AMD オーバークロック)。



このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

Active Page on Entry (開始時のアクティブページ)

UEFI セットアップ ユーティリティに入るときデフォルト ページを選択できます。

設定オプション：[Main (メイン)] [OC Tweaker] [Advanced (詳細)] [Tool (ツール)]
[H/W Monitor (H/W モニター)] [Security (セキュリティ)] [Boot (ブート)] [Exit (終了)]

Full HD UEFI BIOS (フル HD UEFI BIOS)

[Auto (自動)]

「Auto (自動)」を選択すると解像度は 1920 x 1080 に設定されます。(ご使用のモニターがフル HD に対応している場合)もしモニターがフル HD 非対応であれば、解像度は 1024 x 768 に設定されます。

[Disabled (無効)]

「Disabled (無効)」を選択すると、解像度は 1024 x 768 に直接設定されます。

3.4.1 CPU Configuration (CPU 設定)



PSS Support (PSS サポート)

ACPI_PPC、_PSS、および _PCT オブジェクトの世代を有効または無効にできます。

NX Mode (NX モード)

非実行ページ保護機能を有効または無効にすることができます。

SVM Mode (SVM モード)

これを [Enabled (有効)] に設定すると、VMM (仮想マシンアーキテクチャ) は AMD-V が提供する追加ハードウェア容量を利用できます。デフォルト値は [Enabled (有効)] です。設定オプション: [Enabled (有効)] と [Disabled (無効)]。

SMT Mode (SMT モード)

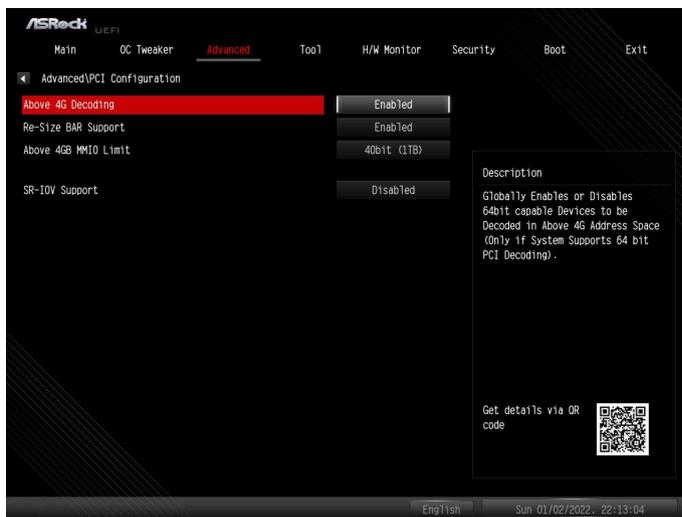
この項目を使用して対称型マルチスレッドを無効にできます。SMT をもう一度有効にするには、[Auto (自動)] を選択した後で、パワーサイクルが必要です。
警告: SMT が無効の場合は、システム上では S3 に対応しません。

AMD fTPM Switch (AMD fTPM スイッチ)

この項目を使用して AMD CPU fTPM を有効または無効にします。

設定オプション: [AMD CPU fTPM] [Route to SPI TPM (SPI TPM へのルーティング)] [Disabled (無効)]

3.4.2 PCI 構成



Above 4G Decoding (4G を超えるデコーディング)

4G 以上のアドレス空間での 64 ビット対応デバイスのデコードをグローバルに有効または無効にします (システムが 64 ビット PCI デコードをサポートしている場合のみ)。

Re-Size BAR Support (BAR のサイズ変更のサポート)

システムにサイズ変更可能な BAR 対応の PCIe デバイスがある場合、このオプションはサイズ変更可能な BAR のサポートを有効または無効にします。

Above 4GB MMIO Limit (4GB MMIO 制限を超える)

4GB 以上の MMIO 制限を 38 ~ 43 ビットの制限に選択できます。このオプションは、「Above 4G decoding (4G 以上のデコード)」が有効になっている場合にのみ機能します。

設定オプション : [40bit (1TB) (40 ビット (1TB))] [41bit (2TB) (41 ビット (2TB))] [42bit (4TB) (42 ビット (4TB))] [43bit (8TB) (43 ビット (8TB))]

SR-IOV Support (SR-IOV サポート)

システムに SR-IOV 対応デバイスがある場合は、このオプションで Single Root IO Virtualization Support (シングルルート IO 仮想化サポート) を有効または無効にします。

3.4.3 オンボード デバイス構成



Turn On Onboard LED in S5 (S5 で オンボード LED をオンにします)
ACPI S5 状態で LED をオン / オフできます。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、ACPI S5 状態で LED をオフにします。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、ACPI S5 状態で LED をオンにします。

Restore Onboard LED Default (オンボード LED デフォルトを復元する)
オンボード LED のデフォルト値を復元できます。

[Disabled (無効)] オンボード LED のデフォルト値を復元しない場合は、この項目を選択します。

[Apply (適用)] オンボード LED のデフォルト値を復元する場合は、この項目を選択します。

RGB LED On/Off (RGB LED オン / オフ)

RGB LED を有効または無効にできます。

[On (オン)] この項目を選択して、RGB LED を有効にします。

[Off (オフ)] この項目を選択して、RGB LED を無効にします。

Integrated Graphics Controller (統合グラフィックス コントローラ)

統合グラフィックス コントローラを有効または無効にできます。[Customize (カスタマイズ)] に設定すると、下の [UMA Frame buffer Size (UMA フレーム バッファ サイズ)] オプションが表示され、設定できるようになります。

設定オプション : [Disabled (無効)] [Enabled (有効)] [Customize (カスタマイズ)]

UMA Frame buffer Size (UMA フレームバッファ サイズ)

CSM を無効にして、2GB を超えるフレームバッファ サイズを取得します。システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサに割り当てるメモリのサイズを設定します。

[Auto (自動)] BIOS がこの設定を自動的に構成します。

Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵 HD オーディオを有効または無効にできます。

WAN Radio (WAN ラジオ)

Wi-Fi モジュールの接続を構成できます。

BT On/Off (BT オン / オフ)

Bluetooth を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

PS2 Y-Cable (PS2 Y ケーブル)

PS2 Y ケーブルを有効にするか、またはこのオプションを Auto (自動) に設定します。

PCIe Gen5 redriver (PCIe Gen5 リド라이バー)

PCIe Gen5 redriver (PCIe Gen5 リド라이バー) を有効または無効にできます。

Downstream High Frequency Peak Port A (ダウストリーム高周波ピークポート A)

Downstream High Frequency Peak Port A (ダウストリーム高周波数ピークポート A) 設定を構成できます。

Downstream High Frequency Peak Port B (ダウストリーム高周波ピークポート B)

Downstream High Frequency Peak Port B (ダウストリーム高周波数ピークポート B) 設定を構成できます。

Downstream Low Frequency Peak Port A (ダウストリーム低周波ピークポート A)

Downstream Low Frequency Peak Port A (ダウストリーム低周波数ピークポート A) 設定を構成できます。

Downstream Low Frequency Peak Port B (ダウストリーム低周波ピークポート B)

Downstream Low Frequency Peak Port B (ダウストリーム低周波数ピークポート B) 設定を構成できます。

Upstream High Frequency Peak Port A (アップストリーム高周波ピークポート A)

Upstream High Frequency Peak Port A (アップストリーム高周波数ピークポート A) 設定を構成できます。

Upstream High Frequency Peak Port B (アップストリーム高周波ピークポート B)

Upstream High Frequency Peak Port B (アップストリーム高周波数ピークポート B) 設定を構成できます。

Upstream Low Frequency Peak Port A (アップストリーム低周波ピークポート A)

Upstream Low Frequency Peak Port A (アップストリーム低周波数ピークポート A) 設定を構成できます。

Upstream Low Frequency Peak Port B (アップストリーム低周波ピークポート B)

Upstream Low Frequency Peak Port B (アップストリーム低周波数ピークポート B) 設定を構成できます。

Driver Swing (ドライバー スイング)

Driver Swing (ドライバー スイング) 設定を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [600 mVppd] [640 mVppd] [670 mVppd] [700 mVppd]

Flat Gain (フラット ゲイン)

Flat Gain (フラット ゲイン) 設定を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [-2.5 dB] [-1.5 dB] [-0.5 dB] [0.5 dB]

3.4.4 ストレージ構成



SATA Mode (SATA モード)

この項目では、SATA タイプを選択できます。

[AHCI] パフォーマンスを向上させる新機能をサポートするには、この項目を選択します。

[RAID] 複数のディスクドライブを1つの論理ユニットに結合するには、この項目を選択します。

NVMe Configuration (NVMe 構成)

この項目は、マザーボードに NVMe M.2 デバイスがインストールされている場合にのみ表示されます。

[Enter] を押して、NVMe コントローラとドライブの情報を表示します。

3.4.5 ACPI 構成



Suspend to RAM (RAM へのサスペンド)

[Auto] (自動) として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

設定オプション: [Disabled (無効)] [Auto (自動)]

Restore on AC/Power Loss (AC/ 電源損失で復元)

停電後の電源状態を選択できます。

[Power Off (電源オフ)] この項目を選択すると、電源が回復しても電源はオフのままになります。[Power On (電源オン)] この項目を選択すると、電源が回復したときにシステムが起動し始めます。

設定オプション: [Power On (電源オン)] [Power Off (電源オフ)]

Deep Sleep (ディープスリープ)

コンピューターのシャットダウン時に省電力のためにディープスリープモードを構成できます。システムの互換性と安定性を優先される場合、ディープスリープモードを無効にするようにお勧めします。

設定オプション: [Disabled (無効)] [Enabled in S5 (S5 で有効)] [Enabled in S4 & S5 (S4 および S5 で有効)]

PS/2 Keyboard S4/S5 Wakeup Support (PS/2 キーボード S4/S5 ウェイクアップサポート)

この項目により、S4/S5 の PS/2 キーボードによってシステムをウェイクアップできます。

PCIE Devices Power On (PCIE デバイス電源オン)

[Enabled (有効)] この項目を選択して、システムが PCIE デバイスによってウェイクアップできるようにし、Wake on LAN を有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択すると、PCIE デバイスによるシステムのウェイクアップが許可されず、Wake on LAN が無効になります。

RTC Alarm Power On (RTC アラームによる電源オン)

[Enabled (有効)]

この項目を選択すると、システムがリアルタイム クロック アラームによってウェイクアップできるようになります。

[Disabled (無効)]

この項目を選択すると、リアルタイム クロック アラームによるシステムのウェイクアップが許可されません。

[By OS (OS による)]

この項目を選択して、オペレーティング システムで取り扱うようにします。

3.4.6 トラストド コンピューティング



注記：オプションは接続されている TPM モジュールのバージョンにより異なります。

Security Device Support (セキュリティ デバイス サポート)

セキュリティデバイスの BIOS サポートを有効または無効にできます。OS はセキュリティ デバイスを表示しません。TCG EFI プロトコルと INT1A インターフェースは使用できなくなります。

Active PCR banks (アクティブ PCR バンク)

この項目により、アクティブな PCR バンクを表示することができます。

Available PCR Banks (利用可能 PCR バンク)

この項目により、利用可能な PCR バンクを表示することができます。

SHA256 PCR Bank (SHA256 PCR バンク)

SHA256 PCR Bank (SHA256 PCR バンク) を有効または無効にできます。

SHA384 PCR Bank (SHA384 PCR バンク)

SHA384 PCR Bank (SHA384 PCR バンク) を有効または無効にできます。

Pending Operation (保留中の操作)

セキュリティデバイスの操作をスケジュールできます。

注記：デバイスの状態を変更するために、コンピューターは再起動中に再起動します。

設定オプション：[None (なし)] [TPM Clear (TPM クリア)]

Platform Hierarchy (プラットフォーム階層)

Platform Hierarchy (プラットフォーム階層) を有効または無効にできません。

Storage Hierarchy (ストレージ階層)

Storage Hierarchy (ストレージ階層) を有効または無効にできません。

Endorsement Hierarchy (エンドースメント階層)

Endorsement Hierarchy (エンドースメント階層) を有効または無効にできません。

Physical Presence Spec version (Physical Presence Spec バージョン)

この項目を選択して、OS に PPI 仕様バージョン 1.2 または 1.3 をサポートするように指示できます。一部の HCK テストはバージョン 1.3 をサポートしていない可能性があることに注意してください。

設定オプション：

Device Select (デバイス選択)

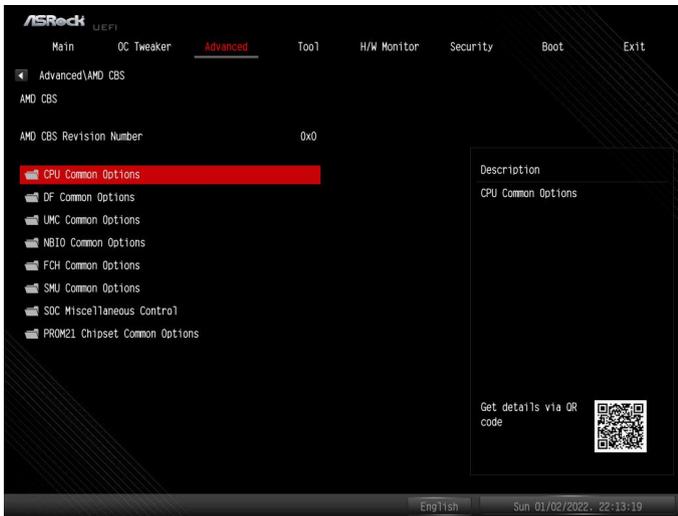
この項目を使用して、サポートする TPM デバイスを選択します。

[TPM 1.2] この項目を選択して、サポートを TPM 1.2 デバイスに制限します。

[TPM 2.0] この項目を選択して、サポートを TPM 2.0 デバイスに制限します。

[Auto (自動)] TPM 1.2 デバイスと 2.0 デバイスの両方をサポートするには、この項目を選択します。デフォルトは TPM 2.0 デバイスに設定されています。TPM 2.0 デバイスが見つからない場合は、TPM 1.2 デバイスが列挙されます。

3.4.7 AMD CBS



CPU Common Options (CPU 一般オプション)

[Enter] を押して CPU Common Options (CPU 一般オプション) を構成します。

Thread Enablement (スレッドの有効化)

[Enter] を押して Thread Enablement (スレッドの有効化) を構成します。

SMT Control (SMT コントロール)

この項目を使用して対称型マルチスレッドを無効にできます。SMT をもう一度有効にするには、「Auto (自動)」オプションを選択した後でパワー サイクルが必要です。

Performance (パフォーマンス)

[Enter] を押して Performance (パフォーマンス) オプションを構成します。

Prefetcher Settings (プリフェッチャー設定)

[Enter] を押して Prefetcher Settings (プリフェッチャー設定) を構成します。

L1 Stream HW Prefetcher (L1 ストリーム HW プリフェッチャー)

L1 Stream HW Prefetcher (L1 ストリーム HW プリフェッチャー) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

L2 Stream HW Prefetcher (L2 ストリーム HW プリフェッチャー)

L2 Stream HW Prefetcher (L2 ストリーム HW プリフェッチャー) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

L1 Stride Prefetcher (L1 ストライドプリフェッチャー)

個々の命令のメモリアクセス履歴を使用して、各アクセスが前のアクセスから一定の距離にある場合に追加の行をフェッチします。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

L1 Region Prefetcher (L1 領域プリフェッチャー)

メモリアクセス履歴を使用して、特定の命令のデータアクセスの後に他のデータアクセスが続く傾向がある場合に、追加の行をフェッチします。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

L2 Up/Down Prefetcher (L2 アップ / ダウン プリフェッチャー)

メモリアクセス履歴を使用して、すべてのメモリアクセスに対して次の行または前の行をフェッチするかどうかを決定します。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Core Watchdog (コアウォッチドッグ)

[Enter] を押して Core Watchdog (コアウォッチドッグ) オプションを構成します。

Core Watchdog Timer Enable (コアウォッチドッグタイマーの有効化)

CPU Watchdog Timer (CPU ウォッチドッグタイマー) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Platform First Error Handling (プラットフォームファーストエラー処理)

PFEH を有効または無効にし、個々のバンクをクロークし、各バンクからの遅延エラー割り込みをマスクできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Core Performance Boost (コアパフォーマンスブースト)

[Disabled (無効)] CPB を無効にするには、この項目を選択します。

[Auto (自動)] BIOS がこの設定を自動的に構成します。

Global C-state Control (グローバルCステート制御)

IO ベースの C ステート生成と DF C ステートを制御できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Opcache Control (Opcache 制御)

Opcache を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Streaming Stores Control (ストリーミング・ストア制御)

ストリーミングストア機能を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Local APIC Mode (ローカル APIC モード)

ローカル APIC 操作モードを選択できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Compatibility (互換性)] [xAPIC] [x2APIC]

ACPI_CST C1 Declaration (ACPI_CST C1 宣言)

C1 状態を OS に宣言するかどうかを決定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

MCA error thrash enable (MCA エラー スラッシュ有効化)

MCA エラーのしきい値を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

SMU and PSP Debug Mode (SMU および PSP デバッグ モード)

このオプションを有効にすると、コールドリセットの原因となる PSP FW または SMU FW によって検出された未修正のエラーがハングし、システムがリセットされません。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

PPIN Opt-in (PPIN オプトイン)

PPIN 機能を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Fast Short REP MOVSB (ファスト ショート REP MOVSB)

[Enabled (有効)] デフォルトで 1 に設定されています。

[Disabled (無効)] これは、OS がサポートしている限り、分析目的でゼロに設定できます。

設定オプション：[Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Enhanced REP MOVSB/STOSB (拡張 REP MOVSB/STOSB)

[Enabled (有効)] デフォルトで 1 に設定されています。

[Disabled (無効)] これは、OS がサポートしている限り、分析目的でゼロに設定できます。

設定オプション：[Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

REP-MOV/STOS Streaming (REP-MOV/STOS ストリーミング)

REP-MOV/STOS が大きなサイズの非キャッシュ ストリーミング ストアを使用できるようにします。

設定オプション：[Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Power Supply Idle Control (電源アイドル制御)

Power Supply Idle Control (電源アイドル制御) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Low Current Idle (低電流アイドル)] [Typical Current Idle (標準電流アイドル)]

Xstring7 Workaround (Xstring7 回避策)

この回避策は、Rev A にのみ適用されます。Rev A では、デフォルト (自動) で Bronze 回避策が適用されます。Bronze workaround (Bronze 回避策)：DbReq と PDM は期待どおりに機能します。ブレークポイントのリダイレクト機能が損なわれています。Silver workaround (Silver 回避策)：DubReq、PDM、ブレークポイントリダイレクトは期待どおりに機能します。SCAN 機能が損なわれます。Rev B の場合、回避策は適用されず、このオプションの選択を変更しても変更はありません。

設定オプション：[Auto (自動)] [No Workaround (回避策なし)] [Bronze Workaround (Bronze 回避策)] [Silver Workaround (Silver 回避策)]

SNP Memory (RMP Table) Coverage (SNP メモリ (RMP テーブル) カバレッジ)

この項目を使用して、SNP Memory (RMP Table) Coverage (SNP メモリ (RMP テーブル) カバレッジ) を構成します。[Enabled (有効)] を選択すると、システムメモリ全体がカバーされます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)] [Custom (カスタム)]

SMEE

この項目は、セキュアメモリ暗号化の有効化を制御します。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Action on BIST Failure (BIST 障害時のアクション)

この項目では、CCD BIST 障害が検出されたときに実行するアクションを選択できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Do nothing (何もしない)] [Down-CCD (ダウン CCD)]

DF Common Options (DF 一般オプション)

[Enter] を押して DF Common Options (DF 一般オプション) を構成します。

Memory Addressing (メモリアドレッシング)

[Enter] を押して Memory Addressing (メモリアドレッシング) オプションを構成します。

Memory interleaving (メモリインターリービング)

この項目を使用すると、メモリチャネルのインターリーブを無効にすることができます。

Memory interleaving size (メモリインターリービングサイズ)

この項目は、メモリインターリービングサイズを制御します。有効な値は AUTO(自動)、256 bytes、1 Kbytes または 2Kbytes です。これで、インターリーブ (bit 8、9、10、または、11) の開始アドレスを定義します。

DRAM map inversion (DRAM マップ反転)

マップを反転すると、最も高いメモリチャネルにシステム内の最も低いアドレスが割り当てられます。

Location of private memory regions (プライベートメモリアドレス領域の場所)

この項目は、プライベートメモリ領域 (PSP、SMU、および CC6) が DRAM の上部にあるか、最初の DRAM ペアの上部にあるか、分散しているかを制御します。分散されている場合はすべてのダイでメモリが必要です。このオプションの設定に関わらず、メモリのないダイがある場合は DRAM のトップになります。

設定オプション：[Auto (自動)] [Distributed (分散)] [Consolidated (集約)]

[Consolidated to 1st DRAM pair (1 つ目の DRAM ペアに集約)]

Disable DF to external downstream IP Sync Flood Propagation (外部ダウンストリーム LIP 同期フラッドプロパゲーションへの DF を無効にする)

この項目を使用すると、UMC または任意のダウンストリームスレーブサンプル ECH へのエラー伝搬を無効にすることができます。これを使用して、障害シナリオでのリセットを回避します。

Disable DF sync flood propagation (DF 同期フラッド伝搬無効)

この項目を使用すると、PIE から他の DF コンポーネントへ、そして最終的には SDP ポートへの伝達を無効にすることができます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Sync flood disabled (同期フラッド無効)] [Sync flood enabled (同期フラッド有効)]

Freeze DF module queues on error (エラーの際に DF モジュールキューをフリーズ)

この項目を使用すると、エラー時にすべての DF キューのフリーズを有効にし、MCA が無効になっている場合でも HWA で同期フラッドを強制できます。

DR Cstates

DF Cstate 機能が有効な場合、FW はこの機能を有効にするために必要なレジスタをプログラムします。自動オプションの場合、このオプションは Global C State (グローバル C ステート) と同期されることを意味します。

PSP error injection support (PSP エラー インジェクションのサポート)

[True] エラー インジェクションを有効にするには、この項目を選択します。

[False] エラー インジェクションを無効にするには、この項目を選択します。

UMC Common Options (UMC 一般オプション)

[Enter] を押して UMC Common Options (UMC 一般オプション) を構成します。

DDR Options (DDR オプション)

[Enter] を押して DDR Options (DDR オプション) を構成します。

DDR Timing Configuration (DDR タイミング構成)

[Enter] を押して DDR Timing Configuration (DDR タイミング構成) を調整します。

DDR Controller Configuration (DDR コントローラの構成)

[Enter] を押して DDR Controller Configuration (DDR コントローラの構成) を調整します。

DDR Power Options (DDR 電源オプション)

[Enter] を押して DDR Power Options (DDR 電源オプション) を構成します。

Power Down Enable (電源オフの有効化)

DDR 電源オフ モードを有効または無効にできます。

DDR RAS

[Enter] を押して DDR RAS オプションを構成します。

Disable Memory Error Injection (メモリ エラー インジェクションを無効にする)

[True] この項目を選択して、Memory Error Injection (メモリ エラー インジェクション) を有効にします。

[False] この項目を選択して、Memory Error Injection (メモリ エラー インジェクション) を無効にします。

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

DDR ECC Configuration (DDR ECC 構成)

[Enter] を押して DDR ECC Configuration (DDR ECC 構成) を調整します。

ECC

ECC を有効または無効にできます。Auto (自動) は ECC を有効に設定します。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

DDR Security (DDR セキュリティ)

[Enter] を押して DDR Security (DDR セキュリティ) オプションを構成します。

TSME

TSME 設定を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Data Scramble (データスクランブル)

Data Scramble (データスクランブル) 設定を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

DDR Addressing Options (DDR アドレッシング オプション)

[Enter] を押して DDR Addressing Options (DDR アドレッシング オプション) を構成します。

Chipselect Interleaving (チップ選択インターリーブング)

ノード 0 に選択された DRAM チップ全体でメモリブロックをインターリーブします。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)]

Address Hash Bank (アドレスハッシュバンク)

バンクアドレスハッシュバンクを有効または無効にできます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Address Hash CS (アドレスハッシュ CS)

CS アドレスハッシュバンクを有効または無効にできます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

BankSwapMode

BankSwapMode を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Swap APU (スワップ APU)]

DDR Training Options (DDR トレーニング オプション)

[Enter] を押して DDR Training Options (DDR トレーニング オプション) を構成します。

DFE Read Training (DFE 読み取りトレーニング)

この項目は、DFE がオンの状態で 2D 読み取りトレーニングを実行します。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

DRAM PDA Enumerate ID Programming Mode (DRAM PDA Enumerate ID プログラミング モード)

DRAM PDA Enumerate ID Programming Mode (DRAM PDA Enumerate ID プログラミング モード) を構成できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Sequential PDA enumeration mode (順次 PDA 列挙モード)] [Legacy PDA enumeration mode (レガシー PDA 列挙モード)]

DDR Memory MBIST (DDR メモリ MBIST)

[Enter] を押して DDR Memory MBIST (DDR メモリ MBIST) を構成します。

MBIST Enable (MBIST 有効)

Memory MBIST (メモリ MBIST) を有効または無効にできます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

MBIST Test Mode (MBIST テスト モード)

MBIST Test Mode (MBIST テスト モード) - Interface Mode (インターフェース モード) (単一および複数の CS トランザクションと基本的な接続をテスト) または Data Eye Mode (データアイ モード) (電圧とタイミングの測定) を選択できます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Interface Mode (インターフェイス モード)] [Data Eye Mode (データアイ モード)] [Both (両方)]

MBIST Aggressors (MBIST アグレッサ)

MBIST Aggressors (MBIST アグレッサ) を有効または無効にできます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

MBIST Per Bit Slave Die Reporting (MBIST ビット当たりのスレーブダイ報告)

有効にすると、DQ、Chipselect、チャンネルごとに ABL ログに 2D データアイ結果が報告されます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

DDR Data Eye (DDR データアイ)

[Enter] を押して DDR Data Eye (DDR データアイ) オプションを構成します。

Pattern Select (パターン選択)

Pattern Select (パターン選択) を構成できます。

設定オプション: [PRBS] [SSO] [Both (両方)]

Pattern Length (パターンの長さ)

このトークンは、パターンの長さを決定するのに役立ちます。可能なオプションは N=3...12 です。

Aggressor Channel (アグレッサ チャンネル)

これは、アグレッサ チャンネルを読み取るのに役立ちます。有効になっている場合は、1 つまたは複数のアグレッサ チャンネルから読み取ることができます。

設定オプション：[Disabled (無効)] [1 Aggressor Channel (1 アグレッサー チャンネル)]
[3 Aggressor Channels (3 アグレッサー チャンネル)] [7 Aggressor Channels (7 アグレッサー
チャンネル)]

DDR Memory Features (DDR メモリの機能)

[Enter] を押して DDR Memory Features (DDR メモリの機能) を構成します。

Memory Context Restore (メモリ コンテキストの復元)

メモリ コンテキスト復元モードを設定できます。有効にすると、可能であれば DRAM の再保持が回避され、POST レイテンシが最小限に抑えられます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

NBIO Common Options (NBIO 一般オプション)

[Enter] を押して NBIO Common Options (NBIO 一般オプション) を構成します。

IOMMU

IOMMU を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

PCIe ARI Support (PCIe ARI サポート)

PCIe ARI Support (PCIe ARI サポート) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

PCIe ARI Enumeration (PCIe ARI 列挙)

各ダウンストリーム ポートの ARI 転送を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

PSPP ポリシー

PSPP Policy (PSPP ポリシー) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

GFX 構成

[Enter] を押して GFX Configuration (GFX 構成) を構成します。

iGPU Configuration (iGPU 構成)

UMA モードを選択できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [iGPU Disabled (iGPU 無効)] [UMA_SPECIFIED]
[UMA_AUTO] [UMA_GAME_OPTIMIZED]

UMA Version (UMA バージョン)

UMA Version (UMA バージョン) を選択できます。

[Legacy (レガシー)] UMA Legacy Version (UMA レガシー バージョン) の場合は、この項目を選択してください。

[Non-Legacy (非レガシー)] UMA Non Legacy Version (UMA 非レガシー バージョン) の場合は、この項目を選択してください。

[Auto (自動)] Hybrid Secure (ハイブリッド セキュア) の場合は、この項目を選択してください。

GPU Host Translation Cache (GPU ホスト変換キャッシュ)

GPU Host Translation Cache (GPU ホスト変換キャッシュ) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Audio Configuration (オーディオ構成)

[Enter] を押して Audio Configuration (オーディオ構成) を構成します。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

NB Azalia

HD オーディオ コントローラを有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Audio IOs (オーディオ IO)

オーディオ IO コントロールを構成できます。

PCIe loopback Mode (PCIe ループバック モード)

PCIe loopback Mode (PCIe ループバック モード) を有効または無効にできます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

FCH Common Options (FCH 一般オプション)

[Enter] を押して FCH Common Options (FCH 一般オプション) を構成します。

USB Configuration Options (USB 設定オプション)

[Enter] を押して USB Configuration Options (USB 設定オプション) を構成します。

USB0 controller enable (USB0 コントローラの有効化)

USB0 コントローラを有効または無効にできます。

USB1 controller enable (USB1 コントローラの有効化)

USB1 コントローラを有効または無効にできます。

USB2 controller enable (USB2 コントローラの有効化)

USB2 コントローラを有効または無効にできます。

USB0 2.0 port enable (USB0 2.0 ポートの有効化)

[Enter] を押して、USB0 2.0 ポート有効化オプションを構成します。

USB0 2.0 port 0 (USB0 2.0 ポート 0)

USB0 2.0 ポート 0 を有効または無効にできます。

USB0 2.0 port 1 (USB0 2.0 ポート 1)

USB0 2.0 ポート 1 を有効または無効にできます。

USB1 2.0 port enable (USB1 2.0 ポートの有効化)

[Enter] を押して、USB1 2.0 ポート有効化オプションを構成します。

USB1 2.0 port 0 (USB1 2.0 ポート 0)

USB1 2.0 ポート 0 を有効または無効にできます。

USB1 2.0 port 1 (USB1 2.0 ポート 1)

USB1 2.0 ポート 1 を有効または無効にできます。

USB2 2.0 port enable (USB2 2.0 ポートの有効化)

[Enter] を押して、USB2 2.0 ポート有効化オプションを構成します。

USB2 2.0 port 0 (USB2 2.0 ポート 0)

USB2 2.0 ポート 0 を有効または無効にできます。

USB0 3.1 port enable (USB0 3.1 ポートの有効化)

[Enter] を押して、USB0 3.1 ポート有効化オプションを構成します。

USB0 3.1 port 0 (USB0 3.1 ポート 0)

USB0 3.1 ポート 0 を有効または無効にできます。

USB0 3.1 port 1 (USB0 3.1 ポート 1)

USB0 3.1 ポート 1 を有効または無効にできます。

USB1 3.1 port enable (USB1 3.1 ポートの有効化)

[Enter] を押して、USB1 3.1 ポート有効化オプションを構成します。

USB1 3.1 port 0 (USB1 3.1 ポート 0)

USB1 3.1 ポート 0 を有効または無効にできます。

USB1 3.1 port 1 (USB1 3.1 ポート 1)

USB1 3.1 ポート 1 を有効または無効にできます。

FCH Spread Spectrum (FCH 拡散スペクトラム)

Spread Spectrum (拡散スペクトラム) 機能を有効にするかどうかを選択できます。

SMU Common Options (SMU 一般オプション)

[Enter] を押して SMU Common Options (SMU 一般オプション) を構成します。

TDP Control (TDP コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの持続電力制限を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた持続電力制限を設定します。

PPT Control (PPT コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの PPT 制限を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた PPT 制限を設定します。

Thermal Control (サーマル コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの TctlMax を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた TctlMax を設定します。

TDC Control (TDC コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの TDC 制限を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた TDC 制限を設定します。

EDC Control (EDC コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの EDC 制限を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた EDC 制限を設定します。

PROCHOT Control (PROCHOT コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択すると、デフォルトの PROCHOT デアサートランプ タイムが使用されます。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた PROCHOT デアサートランプ タイムを設定します。

VDDP Voltage Control (VDDP 電圧コントロール)

[Auto (自動)] この項目を選択して、デフォルトの VDDP 電圧を使用します。

[Manual (手動)] この項目を選択して、カスタマイズされた VDDP 電圧を設定します。

Infinity Fabric Frequency and Dividers (Infinity Fabric の周波数と分周器)

Infinity Fabric Frequency and Dividers (Infinity Fabric の周波数と分周器) を設定できます。

[Auto (自動)] BIOS がこの設定を自動的に構成します。

FEATURE FCLK DPM

FEATURE FCLK DPM を有効または無効にできます。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

SyncFifo Mode Override (SyncFifo モードのオーバーライド)

SyncFifo Mode Override (SyncFifo モードのオーバーライド) を有効または無効にできます。

[Auto (自動)] に設定すると、SyncFifo Mode (SyncFifo モード) は無効になります。

設定オプション: [Auto (自動)] [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Soc Miscellaneous Control (Soc のその他のコントロール)

[Enter] を押して Soc Miscellaneous Control (Soc のその他のコントロール) を構成します。

ABL Console Out Control (ABL コンソールアウト コントロール)

[Enabled (有効)] ABL の ConsoleOut 機能を有効にするには、この項目を選択します。

[Disabled (無効)] ABL の ConsoleOut 機能を無効にするには、この項目を選択します。

PROM21 Chipset Common Options (PROM21 チップセット一般オプション)

[Enter] を押して Chipset Common Options (チップセット一般オプション) を構成します。

PROM21 Chipset PCIe Port Configuration Options (PROM21 チップセット PCIe ポート構成オプション)

[Enter] を押して PROM21 Chipset PCIe Port Configuration Options (PROM21 チップセット PCIe ポート構成オプション) を構成します。

PROM21 Chipset SATA Configuration Options (PROM21 チップセット SATA 構成オプション)

[Enter] を押して PROM21 Chipset SATA Configuration Options (PROM21 チップセット SATA 構成オプション) を構成します。

PROM21 Chipset USB Configuration Options (PROM21 チップセット USB 構成オプション)

[Enter] を押して PROM21 Chipset USB Configuration Options (PROM21 チップセット USB 構成オプション) を構成します。

PROM21L.1/3 USB Port Configuration Options (PROM21L.1/3 USB ポート構成オプション)

[Enter] を押して PROM21L.1/3 USB Port Configuration Options (PROM21L.1/3 USB ポート構成オプション) を構成します。

PROM21 Chipset SI Configuration Options (PROM21 チップセット SI 構成オプション)

[Enter] を押して PROM21 Chipset SI Configuration Options (PROM21 チップセット SI 構成オプション) を構成します。

Secondary PROM21 Chipset PCIe Port Configuration Options (セカンダリ PROM21 チップセット PCIe ポート構成オプション)

[Enter] を押して Secondary PROM21 Chipset PCIe Port Configuration Options (PROM21 チップセット PCIe ポート構成オプション) を構成します。

Secondary PROM21 Chipset SATA Configuration Options (セカンダリ PROM21 チップセット SATA 構成オプション)

[Enter] を押して Secondary PROM21 Chipset SATA Configuration Options (PROM21 チップセット SATA 構成オプション) を構成します。

Secondary PROM21 Chipset USB Configuration Options (セカンダリ PROM21 チップセット USB 構成オプション)

[Enter] を押して Secondary PROM21 Chipset USB Configuration Options (PROM21 チップセット USB 構成オプション) を構成します。

Secondary PROM21L.1/3 USB Port Configuration Options (セカンダリ PROM21L.1/3 USB ポート構成オプション)

[Enter] を押して Secondary PROM21L.1/3 USB Port Configuration Options (PROM21L.1/3 USB ポート構成オプション) を構成します。

Secondary PROM21 Chipset SI Configuration Options (セカンダリ PROM21 チップセット SI 構成オプション)

[Enter] を押して Secondary PROM21 Chipset SI Configuration Options (PROM21 チップセット SI 構成オプション) を構成します。

PROM21 Chipset Revision (PROM21 チップセットのリビジョン)

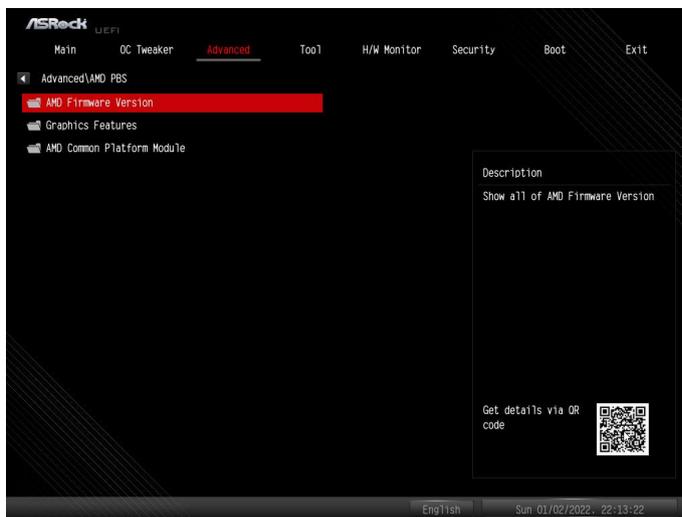
PROM21 Chipset Revision (PROM21 チップセット) リビジョン設定を構成できます。
設定オプション: [Auto (自動)] [A1] [A2]

Dual PROM21 port number/disable (デュアル PROM21 ポート番号 / 無効)

2 番目の PROM21 のダウンストリーム ポート番号を設定できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Disable (無効)] [Port 0 (ポート 0)] [Port 4 (ポート 4)]
[Port 8 (ポート 8)]

3.4.8 AMD PBS



AMD Firmware Version (AMD ファームウェアのバージョン)

[Enter] を押して、すべての AMD ファームウェア バージョンの情報を表示します。

Graphics Features (グラフィック機能)

[Enter] を押して、Graphics Features (グラフィック機能) - HG、DGPU 機能、BOMACO を構成します。

Primary Video Adaptor (プライマリ ビデオ アダプタ)

内部 / 外部グラフィックを選択できます。デフォルト設定は [Int Graphics (IGD)] です。

設定オプション：[Int Graphics (IGD)] [Ext Graphics (PEG)]

AMD Common Platform Module (AMD 一般プラットフォーム モジュール)

[Enter] を押して AMD Common Platform Module (AMD 一般プラットフォーム モジュール) を構成します。BIOS プロシージャ ライブラリは、AMD のお客様が AMD プラットフォーム テクノロジーを製品に迅速に実装できるように設計されています。

PCIe/GFX Lane Configuration (PCIe/GFX レーン構成)

J10 Slot PCIe Lanes (J10 スロット PCIe レーン) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [x8x8] [x8x4x4] [x4x4x4x4]

PCIe/GFX Lane Configuration (PCIe/GFX レーン構成)

PCIe x16 Link Speed (PCIe x16 リンク速度) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Gen1]-[Gen5]

M.2_1 Link Speed (M.2_1 リンク速度)

M.2_1 Link Speed (M.2_1 リンク速度) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Gen1]-[Gen5]

Chipset Link Speed (チップセット リンク速度)

Chipset Link Speed (チップセットリンク速度) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Gen1]-[Gen4]

UCSI Support (UCSI サポート)

[Enable (有効化)] UCSI (USB Type-C Connector System Software Interface) を有効にするには、この項目を選択します。

[Disable (無効)] UCSI (USB Type-C Connector System Software Interface) を無効にするには、この項目を選択します。

External CLK Control (外部 CLK コントロール)

External CLK Control (外部 CLK コントロール) を構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [eCLK0, GPP0-PCIe, GPP0-CPU] [eCLK1, GPP0-PCIe, GPP1-CPU]

注記：スイッチ APU クロック ソース マッピングはすぐにスタックします (ポストコード：B0005A5A)。コールドリセット ボタンを手動で押してスタックを回避します。

NVMe RAID mode (NVMe RAID モード)

NVMe RAID mode (NVMe RAID モード) を有効または無効にできます。「PCIe/GFX Lanes Configuration (PCIe/GFX レーン構成)」項目は RAID 構成に合わせて設定してください。

設定オプション：[Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Adjust VddcrVddfull Mode (VddcrVddfull モードの調整)

VddcrVddfull モードを構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Manual (手動)]

Adjust VddcrSocfull Mode (VddcrSocfull モードの調整)

VddcrSocfull モードを構成できます。

設定オプション：[Auto (自動)] [Manual (手動)]

Thunderbolt Support (Thunderbolt サポート)

[Enable (有効化)] Thunderbolt サポートを有効にするには、この項目を選択します。

[Disable (無効化)] Thunderbolt サポートを無効にするには、この項目を選択します。

Security Level (セキュリティレベル)

Security Level (セキュリティレベル) を選択できます。

設定オプション：[No Security (セキュリティなし)] [User Authorization (ユーザー認証)]

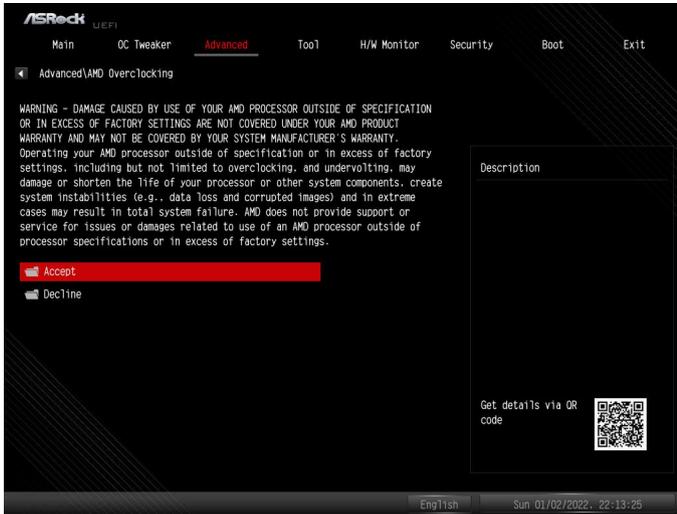
[Secure Connect (セキュアコネクト)] [Display Port only (Display Port のみ)]

Debug Print In ASL (ASL でのデバッグ印刷)

[Enabled (有効)] この項目を選択して、Debug Print In ASL (ASL でのデバッグ印刷) を有効にします。

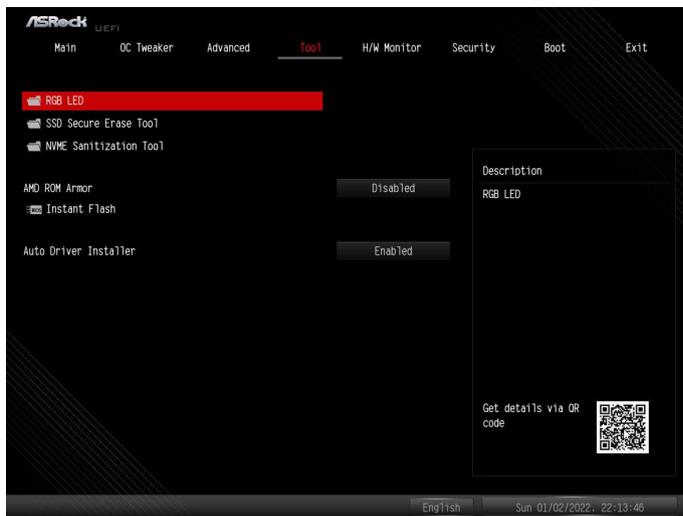
[Disabled (無効)] この項目を選択して、Debug Print In ASL (ASL でのデバッグ印刷) を無効にします。

3.4.9 AMD オーバークロッキング



AMD Overclocking (AMD オーバークロッキング) メニューで、CPU 周波数と電圧を設定するためのオプションにアクセスします。

3.5 ツール



RGB LED

[Enter] を押して、RGB LED オプションを設定します。

RGB LED Mode (RGB LED モード)

RGB LED Mode (RGB LED モード) を構成できます。

設定オプション：[Off (オフ)] [Static (静的)] [Breathing] [Strobe] [Cycling] [Wave] [Spring] [Stack] [Cram] [Scan] [Neon] [Water] [Rainbow]

Speed (速度)

LED 速度を 0 ～ 255 の範囲で設定できます。

Brightness (輝度)

LED 輝度を 0 ～ 255 の範囲で設定できます。

SSD Secure Erase Tool (SSD セキュア消去ツール)

このツールを使用して SSD のデータを完全に消去します。このツールは、Secure Erase (SSD セキュア) 機能をサポートする SSD のみを一覧表示します。

NVME Sanitization Tool (NVME サニタイゼーションツール)

SSD をサニタイズすると、SSD 上のすべてのユーザーデータが永久的に破壊されて、回復できなくなります。

AMD ROM Armor

AMD ROM Armor サポートを有効または無効にできます。

Instant Flash (インスタント フラッシュ)

UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、Instant Flash (インスタント フラッシュ) を実行して UEFI を更新できます。

Auto Driver Installer (自動ドライバーインストーラー)

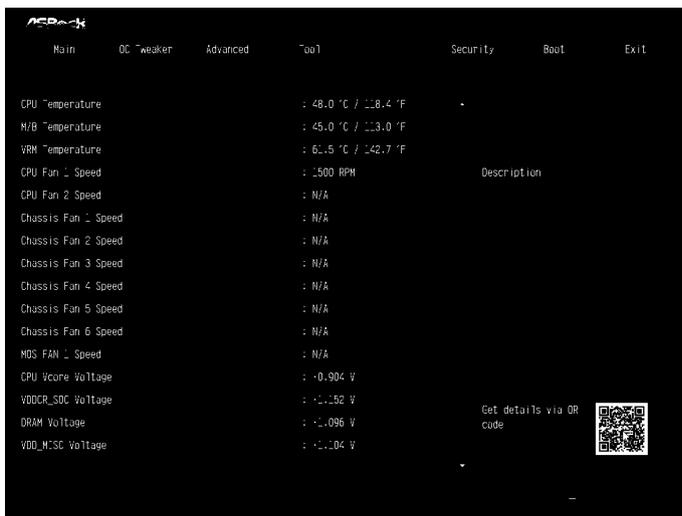
必要なすべてのドライバーを自動的にダウンロードしてインストールできます。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、Auto Driver Installer (自動ドライバーインストーラー) ツールを有効にします。有効にすると、インターネットにアクセスできる状態で Windows に入ると、Auto Driver Installer (自動ドライバーインストーラー) ツールが自動的に表示されます。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、Auto Driver Installer (自動ドライバーインストーラー) ツールを無効にします。

3.6 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルスイベント監視)画面

このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。



注記: オプションは、マザーボードの機能によって異なります。

CPU_FAN1 Setting (CPU_FAN1 設定)

CPU ファン 1 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション:

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(パフォーマンスモード)] [Full Speed(最高速度)]

CPU_FAN2/WP Switch (CPU_FAN2/WP スイッチ)

CPU Water Pump (CPU ウォーターポンプ) モードを選択できます。

CPU Fan 2 Control Mode (CPU ファン 2 制御モード)

CPU ファン 2 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

CPU Fan 2 Setting (CPU ファン 2 設定)

CPU ファン 2 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(パフォーマンスモード)] [Full Speed(最高速度)]

CPU Fan 2 Temp Source (CPU ファン 2 温度ソース)

CPU ファンのファン温度ソースを選択できます。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN1/WP Switch (CHA_FAN1 / WP スイッチ)

CHA_FAN1 またはウォーター ポンプ モードを選択できます。

Chassis Fan 1 Control Mode (シャーシファン 1 制御モード)

シャーシファン 1 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 1 Setting (シャーシファン 1 設定)

シャーシファン 1 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(パフォーマンスモード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 1 Temp Source (シャーシファン 1 温度ソース)

シャーシファン 1 のファン温度ソースを選択できます。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN2/WP Switch (CHA_FAN2 / WP スイッチ)

CHA_FAN2 またはウォーター ポンプ モードを選択できます。

Chassis Fan 2 Control Mode (シャーシファン 2 制御モード)

シャーシファン 2 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode(DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode(PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 2 Setting (シャーシファン 2 設定)

シャーシファン 2 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(パフォーマンスモード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 2 Temp Source (シャーシファン 2 温度ソース)

シャーシファン 2 のファン温度ソースを選択できます。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN3/WP Switch (CHA_FAN3 / WP スイッチ)

CHA_FAN3 またはウォーター ポンプ モードを選択できます。

Chassis Fan 3 Control Mode (シャーシファン 3 制御モード)

シャーシファン 3 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 3 Setting (シャーシファン 3 設定)

シャーシファン 3 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(パフォーマンスモード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 3 Temp Source (シャーシファン 3 温度ソース)

シャーシファン 3 のファン温度ソースを選択できます。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN4/WP Switch (CHA_FAN4/WP スイッチ)

CHA_FAN4 またはウォーターポンプモードを選択できます。

Chassis Fan 4 Control Mode (シャーシファン 4 制御モード)

シャーシファン 4 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 4 Setting (シャーシファン 4 設定)

シャーシファン 4 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

CHA_FAN5/WP Switch (CHA_FAN5/WP スイッチ)

CHA_FAN5 またはウォーターポンプモードを選択できます。

Chassis Fan 5 Control Mode (シャーシファン 5 制御モード)

シャーシファン 5 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 5 Setting (シャーシファン 5 設定)

シャーシファン 5 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

CHA_FAN6/WP Switch (CHA_FAN6/WP スイッチ)

CHA_FAN6 またはウォーター ポンプ モードを選択できます。

Chassis Fan 6 Control Mode (シャーシファン 6 制御モード)

シャーシファン 6 の PWM モードまたは DC モードを選択できます。

[Auto (自動)] このモードを選択すると、取り付けられているファンのタイプを検出して、制御モードを自動的に切り替えます。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 6 Setting (シャーシファン 6 設定)

シャーシファン 6 のファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

MOS FAN 1 Setting (MOS ファン 1 設定)

ファンのファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

設定オプション：

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

MOS FAN 1 Temp Source (MOS FAN 1 温度ソース)

ファン温度ソースを選択できます。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

Fan-Tastic

ファンのファンモードを選択するか、[Customize (カスタマイズ)] を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度にそれぞれのファン速度を割り当てることができます。

ファンモードを選択するか、または、プロフィールをカスタマイズします。

調整するファンを選択します。

温度の測定対象を選択します。

設定を保存する

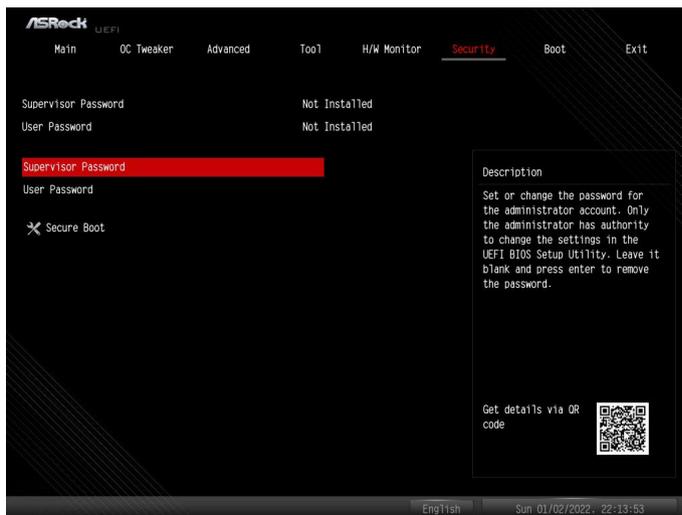
FanTuning

選択すると、BIOS はマザーボードに接続されるファンの最低速度を検出します。このプロセスが完了するまで数分かかります。

注記：OS 内で適用される CAM 設定は、BIOS 内で行われた設定を上書きすることに注意してください。

3.7 Security (セキュリティ) 画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザーパスワードを消去することもできます。



Supervisor Password (スーパーバイザーパスワード)

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップユーティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password (ユーザーパスワード)

ユーザーアカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップユーティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot (セキュアブート)

[Enter] を押して、Secure Boot (セキュアブート) 設定を構成します。この機能は、POST 中に不正なアクセスやマルウェアからシステムを保護します。

Secure Boot Mode (セキュアブートモード)

[Standard (標準)] この項目を選択すると、システムは BIOS データベースからセキュアブートキーを自動的に読み込みます。

[Custom (カスタム)] この項目を選択すると、セキュアブートポリシー変数は、完全な認証なしで物理的に存在するユーザーによって構成されます。

Install Default Secure Boot Keys (デフォルトのセキュア ブート キーをインストールする)

初めてセキュア ブートを使用する場合は、デフォルトのセキュア ブート キーをインストールしてください。

Clear Secure Boot Keys (セキュア ブート キーのクリア)

この項目は、デフォルトのセキュア ブート キーをロードする場合にのみ表示されます。この項目を使用して、すべてのデフォルトのセキュア ブート キーをクリアします。

Key Management (キー管理)

この項目を使用すると、エキスパート ユーザーは完全な認証なしでセキュア ブート ポリシー変数を変更できます。Secure Boot Mode (セキュア ブート モード) を [Custom (カスタム)] に設定した場合のみ表示されます。

Factory Key Provision (工場キーのプロビジョン)

プラットフォームのリセット後、システムがセットアップ モードのときに、工場出荷時のデフォルトのセキュア ブート キーをインストールできます。

Install Default Secure Boot Keys (デフォルトのセキュア ブート キーをインストールする)

初めてセキュア ブートを使用する場合は、デフォルトのセキュア ブート キーをインストールしてください。

Clear Secure Boot Keys (セキュア ブート キーのクリア)

この項目は、デフォルトのセキュア ブート キーをロードする場合にのみ表示されます。この項目を使用して、すべてのデフォルトのセキュア ブート キーをクリアします。

Export Secure Boot variables (セキュア ブート変数のエクスポート)

セキュア ブート変数の NVRAM コンテンツをファイル システム デバイス ルート フォルダー内のファイルにコピーできます。

Enroll Efi Image (Efi イメージの登録)

イメージをセキュア ブート モードで実行できるようにします。バイナリの SHA256 ハッシュを承認済み署名データベース (db) に登録します。

Device Guard Ready (Device Guard 対応)

Remove 'UEFI CA' from DB (DB から「UEFI CA」を削除します)

Device Guard 対応システムは、承認済み署名データベース (db) に「Microsoft UEFI CA」証明書をリストしてはなりません。

Restore DB defaults (DB デフォルトを復元する)

DB 変数を工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。

Platform Key(PK) (プラットフォームキー (PK))

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キーソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

Key Exchange Keys (キー交換キー)

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キーソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

Authorized Signatures (承認された署名)

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キーソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

Forbidden Signatures (禁じられた署名)

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キー ソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

Authorized TimeStamps (承認されたタイムスタンプ)

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キー ソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

OsRecovery Signatures (OsRecovery 署名)

工場出荷時のデフォルトを登録するか、ファイルから証明書をロードします。

1. Public Key Certificate (公開キー証明書) :

- a) EFI_SIGNATURE_LIST
- b) EFI_CERT_X509 (DER)
- c) EFI_CERT_RSA2048 (bin)
- d) EFI_CERT_SHAXXX

2. Authenticated UEFI Variable (認証済み UEFI 変数)

3. EFI PE/COFF イメージ (SHA256)

Key Source (キー ソース) : Factory (工場)、External (外部)、Mixed (混合)

3.8 Boot (ブート) 画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



CSM

非 UEFI ドライバー アドオン デバイスの互換性を向上させるために、CSM (互換性サポート モジュール) が有効になっています。UEFI 対応 OS を使用していて、すべてのデバイスが UEFI をサポートしている場合は、CSM を無効にして起動速度を上げることもできます。

設定オプション : [Disabled (無効)] [Enabled (有効)]

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行ないようにします。

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行ないようにします。

Setup Prompt Timeout (設定プロンプトのタイムアウト)

セットアップ ホット キーを待機する秒数を構成できます。

Bootup Num-Lock (起動時の数値ロック)

システムの起動時に Num Lock をオンにするかオフにするかを選択できます。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

[Enabled (有効)] 起動ロゴを表示する場合に選択します。

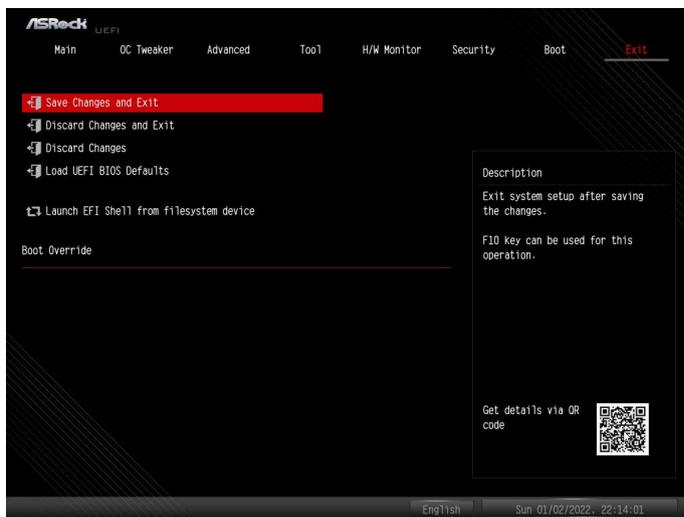
[Disabled (無効)] 通常の POST メッセージを表示するには、この項目を選択します。

Fast Boot (高速ブート)

Fast Boot (高速ブート) は、コンピューターの起動時間を短縮します。ただし、USB ストレージ デバイスから起動することはできません。超高速モードは UEFI 対応 OS 以降のバージョンでサポートされており、外部グラフィックス カードを使用している場合は、UEFI GOP をサポートする VBIOS が必要です。超高速モードの起動は非常に高速であるため、この UEFI セットアップ ユーティリティに入る唯一の方法は、CMOS をクリアするか、Windows で UEFI ユーティリティへの再起動を実行することであることに注意してください。

設定オプション：[Disabled (無効)] [Ultra Fast (超高速)]

3.9 Exit (終了) 画面



Save Changes and Exit (変更を保存して終了)

このオプションを選択すると、「Save configuration changes and exit setup? (設定の変更を保存して設定を終了しますか?)」というメッセージが表示されます。<F10> キーを押すか [Yes (はい)] を選択して変更を保存し、UEFI セットアップ ユーティリティを終了します。

Discard Changes and Exit (変更を保存しないで終了)

このオプションを選択すると、「Discard changes and exit setup? (設定の変更を保存しないで終了しますか?)」というメッセージが表示されます。<ESC> キーを押すか [Yes (はい)] を選択して、変更を保存せずに UEFI セットアップ ユーティリティを終了します。

Discard Changes (変更を破棄)

このオプションを選択すると、「Discard changes? (変更を破棄しますか?)」というメッセージが表示されます。<F7> キーを押すか、[Yes (はい)] を選択してすべての変更を破棄します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読み込み)

すべてのオプションの UEFI デフォルト値を読み込むことができます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device (ファイルシステム デバイスから EFI シェルを起動)

shellx64.efi をルート ディレクトリにコピーして、EFI シェルを起動できます。